

令和6（2024）年度

学修状況等の把握に関するアンケート結果

（大学版）

健康栄養学部 管理栄養学科

看護学部 看護学科

医療科学部 臨床検査学科

修 文 大 学

修文大学短期大学部

I R本部

< 目 次 >

1. 令和6（2024）年度 学修状況等の把握に関するアンケートの総括	1
2. アンケートの目的	1
3. アンケート実施期間	1
4. アンケート対象者数と回答率	2
5. 大学全体のアンケート結果	
問 1 授業の予習・復習等（実習記録・課題・レポート作成及び国家試験対策 の自習を含む）に使った1週間の合計学習時間を記入してください。	3
問 2 問1で回答した予習・復習時間等（レポート作成及び 国家試験対策の自習を含む）についてどう感じていますか	4
問 3 問2で④不足している、③やや不足していると回答した人は、 不足している原因は何でしょうか。（複数回答可）	8
問 4 問1で回答した学習時間の内、国家試験対策の学習に使った1週間の 合計時間を記入してください。	11
問 5 予習・復習に用いる教材はどれですか。（複数回答可）	14
問 6 普段、学習している場所はどこですか。（複数回答可）	18
問 7 授業時間以外で、学習やクラブ活動、友人との交流等のために学内に いる1週間の合計時間を記入してください。	22
問8 アルバイトを行っている1週間の合計時間を記入してください。	24
本学の授業に期待することを記入してください。	27

1. 令和6（2024）年度 学修状況等の把握に関するアンケートの総括

大学において学生の学修状況を把握し今後の教育に生かすため、アンケートを行った。回答率は85.1%であった。

大学全体では、予習・復習等の学習時間は平均17.2時間/週であった。昨年より4.1時間増加した。4年生で最も多く、ついで3年生、2年生、1年生の順であった。

このうち国家試験対策のための学習時間は平均10.2時間/週であった。昨年より2.4時間増加した。4年生で最も多く、健康栄養学部が平均31.6時間/週、看護学部が平均37.7時間/週、医療科学部が平均39.1時間/週であった。

授業以外で学内にいる時間は平均5.3時間/週であった。昨年より1.5時間増加した。4年生で最も多かった。

アルバイトの時間は平均10.8時間/週であった。昨年より0.4時間減少した。1、2、3年生もほとんどの学部で10時間を超えていた。

学習時間が不足している主な原因としてスマートフォン・タブレットなどの使用、学修に身が入らない、アルバイト、プライベートな時間などがあげられる。

学習場所は、自宅等が最も多く、次いで学生ホール等、教室、カフェ等、図書館の順であった。

結論として、大学全体の学習時間は平均17.2時間/週であった。このうち国家試験対策のための学習時間は平均10.2時間/週であった。4年生は国家試験対策のため学習時間が最も多かった。また4年生は学内に滞在する時間が最も長く、アルバイトの時間が最も少なかった。学習時間を多くするためにはスマートフォン・タブレットなどの使用時間の制限およびアルバイト時間の制限が必要であると思われる。学習場所として図書館をより有効に活用できるようにする必要がある。

I R本部 本部長
学長 丹羽 利充

2. アンケートの目的

本アンケートは、授業アンケートとは別に学生の学修状況等の実態を掴み、今後の教育に生かすために昨年度に引き続き実施するものである。

3. アンケート実施期間

令和6年12月6日～12月18日

回答延長期間 令和7年1月20日

4. アンケート対象者数と回答率

大学全体	1年生	2年生	3年生	4年生	合計・ 回答率
対象者	189	228	210	199	826
回答者	180	190	165	168	703
回答率	95.2%	83.3%	78.6%	84.4%	85.1%

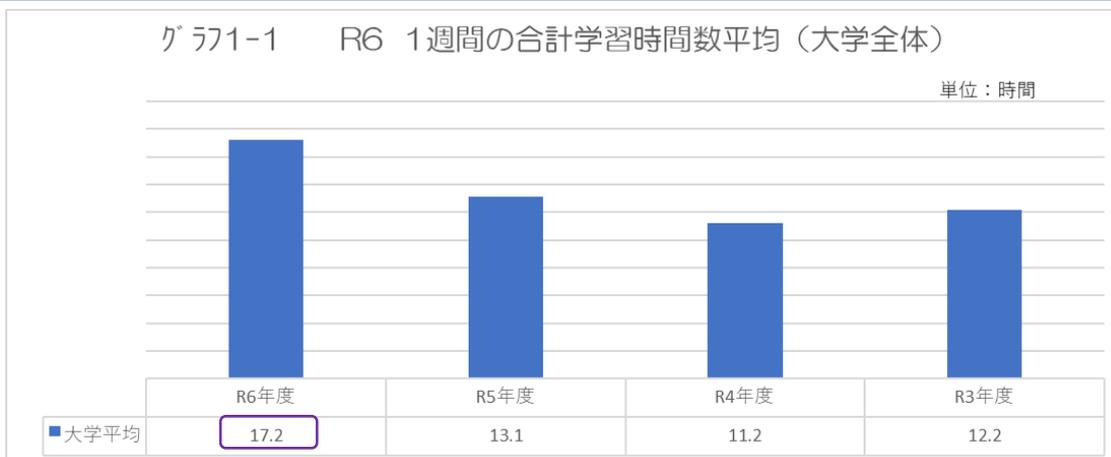
健康栄養	1年生	2年生	3年生	4年生	合計・ 回答率
対象者	31	37	34	42	144
回答者	27	32	31	34	124
回答率	87.1%	86.5%	91.2%	81.0%	86.1%

看護	1年生	2年生	3年生	4年生	合計・ 回答率
対象者	98	114	112	98	422
回答者	93	92	88	78	351
回答率	94.9%	80.7%	78.6%	79.6%	83.2%

医療科学	1年生	2年生	3年生	4年生	合計等
対象者	60	77	64	59	260
回答者	60	66	46	56	228
回答率	100.0%	85.7%	71.9%	94.9%	87.7%

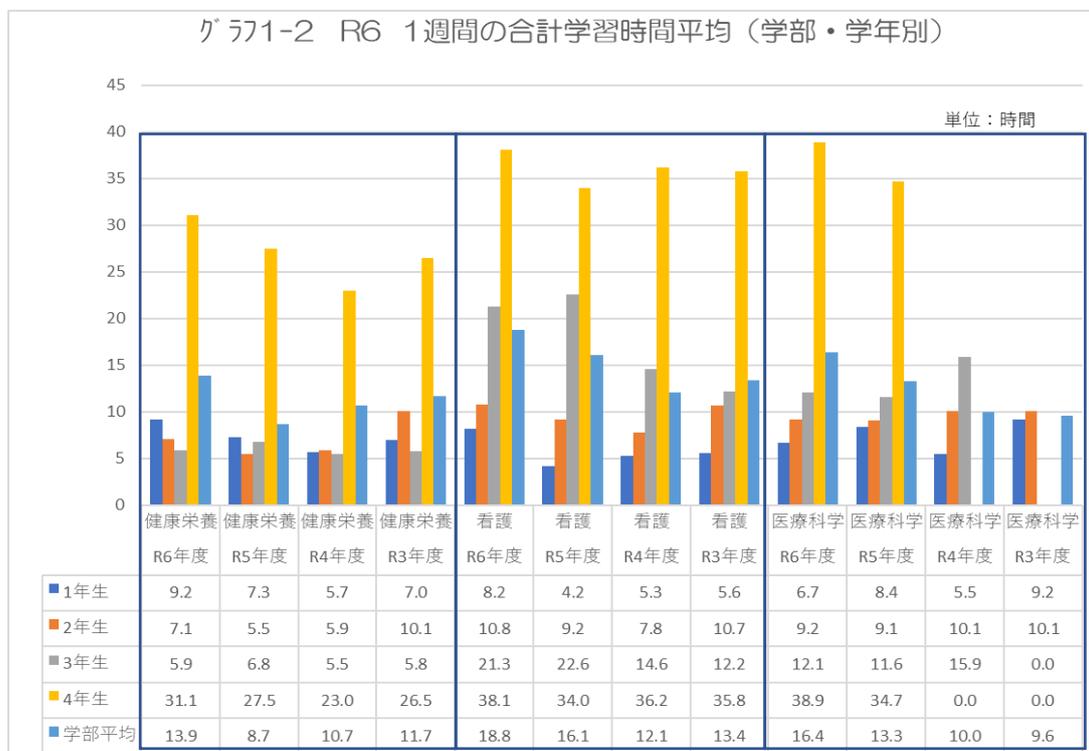
5. 大学全体のアンケート結果

問1 授業の予習・復習等（実習記録・課題・レポート作成及び国家試験対策の自習を含む）に使った1週間の合計学習時間を記入してください。



グラフ 1-1 のとおり、大学全体の 1 週間の合計学習時間を年度ごとに比較してみると令和6年度が最高値の **17.2 時間** となっている。これは、今年度より設問の中で学習時間の中には実習記録、課題も含まれることを明記した影響もあると思われる。文部科学省の令和 4 年度「全国学生調査」結果では、大学生の「予習・復習・課題」など授業に関する学習は 1 週間で 5 時間以内が 75% となっている。ただし、国家試験学習や卒業論文等の学習は含まれていない。

学習時間を年度別に学部・学年別で比較するとグラフ 1-2 のとおりとなる。

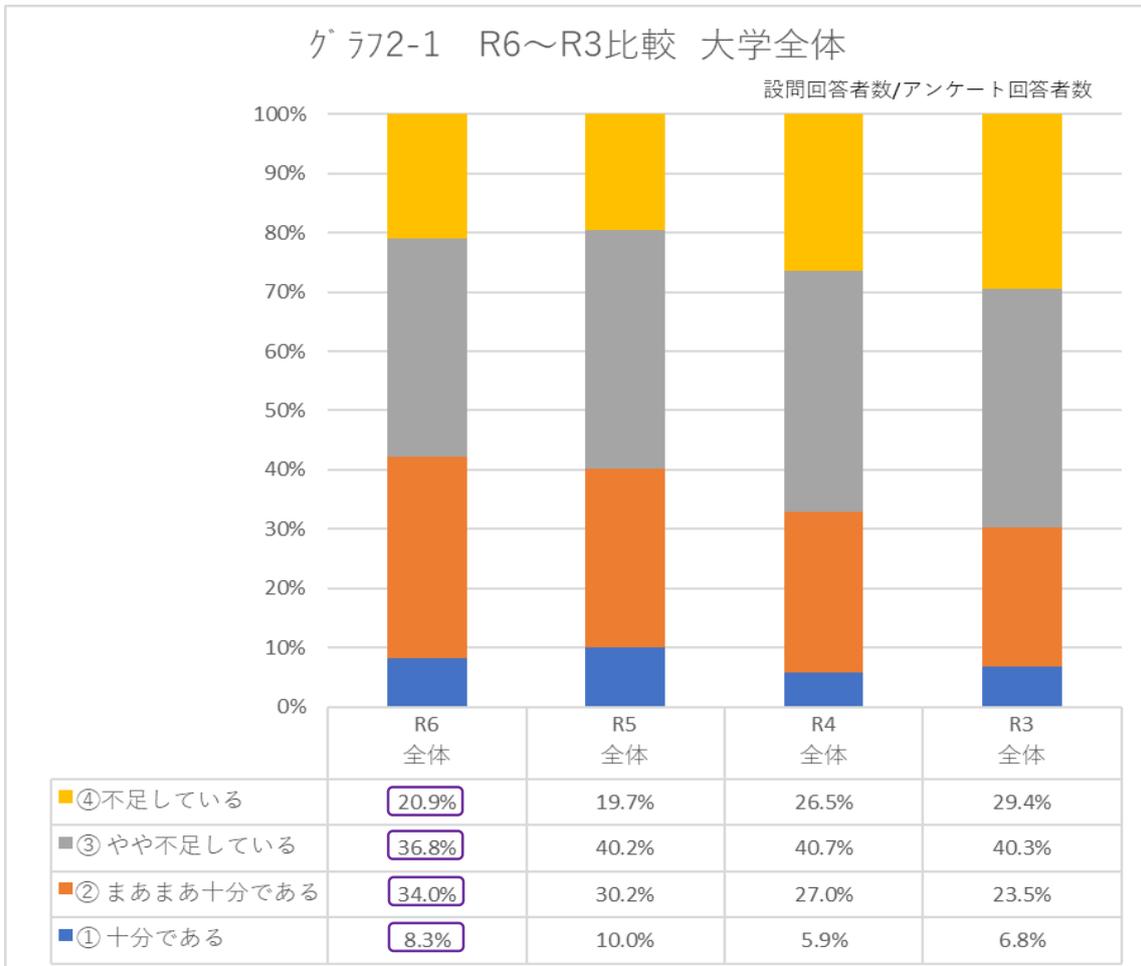


やはり、各学部とも国家試験対策学習、卒業研究等の発表等があるので、4年生が最も学習時間が多くなっている。

次に3年生が4年生の次に学習時間が多くなっているが、気になるのは健康栄養

学部の3年生だけは、1、2年生の学習時間を下回ることが多いことである。この点の改善が国家試験の合格率の向上に結びつくことを期待したい。

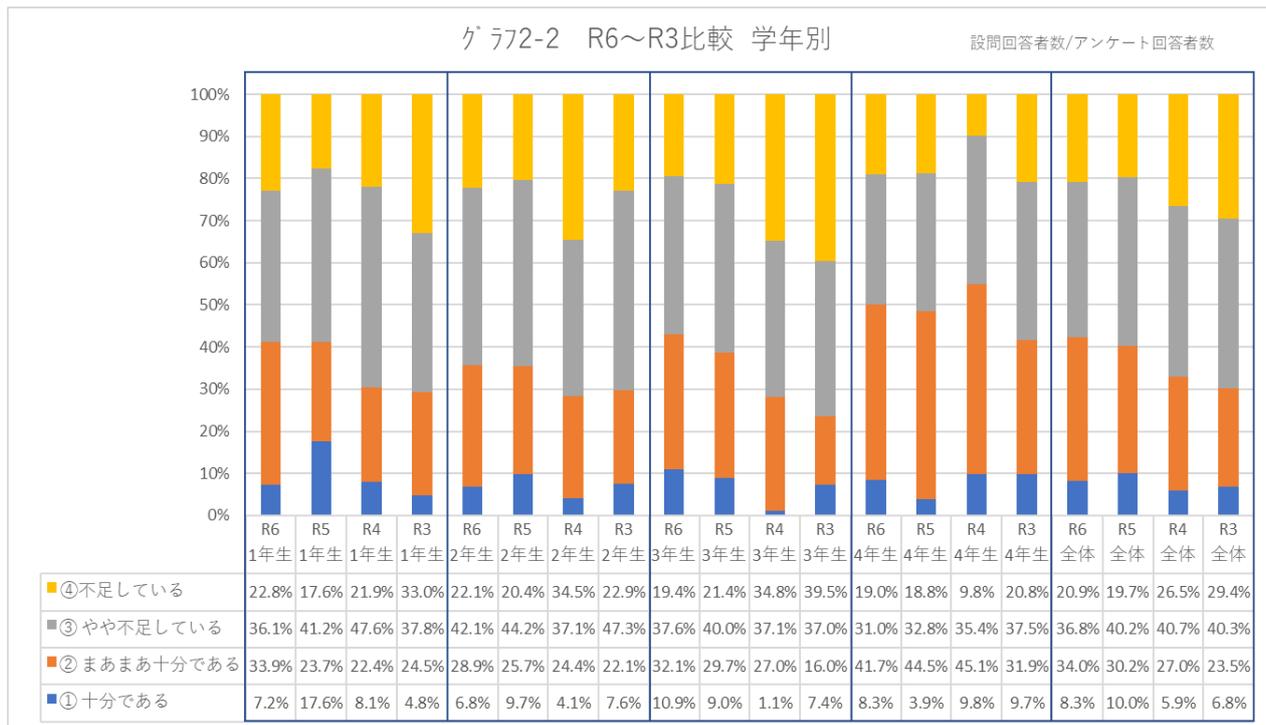
問2 問1で回答した予習・復習時間等（レポート作成及び国家試験対策の自習を含む）についてどう感じていますか。



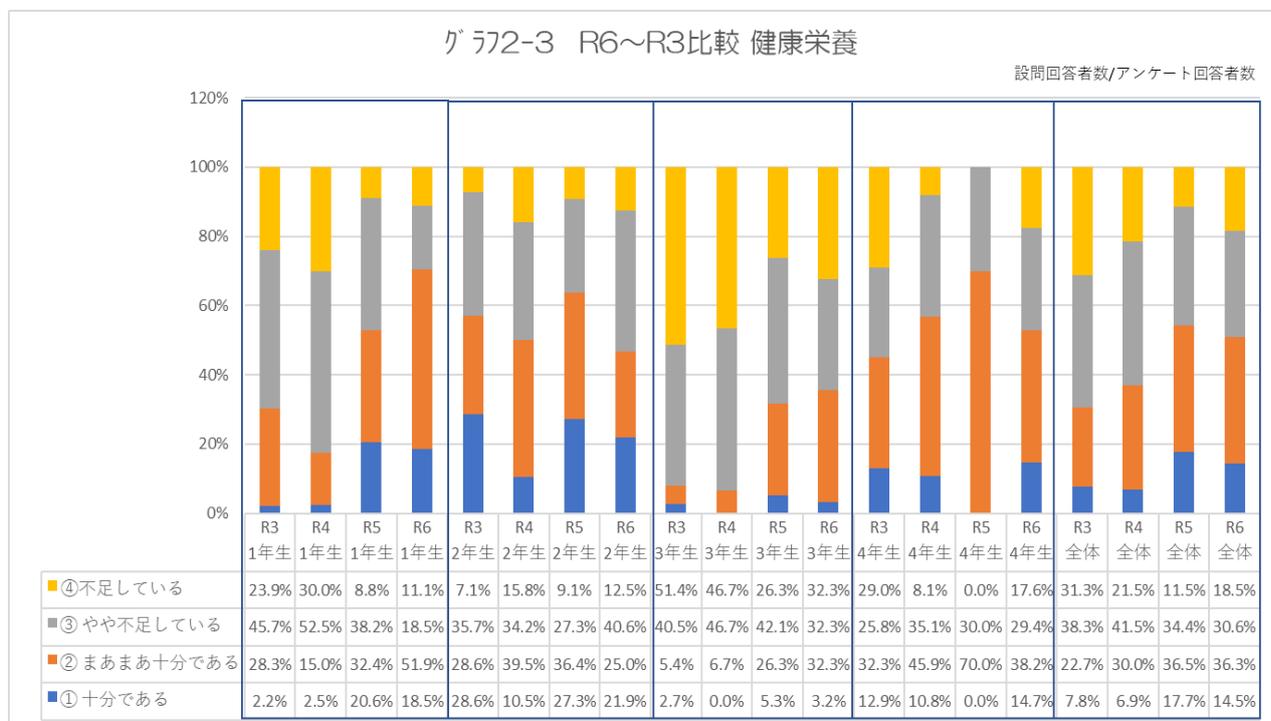
学習時間についての感じ方を大学全体の回答率で見るとグラフ2-1のとおり、回答割合が最も多いのは毎年度「やや不足している」で、令和6年度は36.8%。

次に多いのは「まあまあ十分である」で、令和6年度は34.0%。しかし「不足している」と毎年度大きな差はなく、令和3年度では「不足している」の方が上回っている。「不足している」は、令和6年度は20.9%。「十分である」は、令和6年度で8.3%、毎年度最も少ない回答率となっている。

4年間を比較してみても、10%を超えるような大きな変化は起きていない。



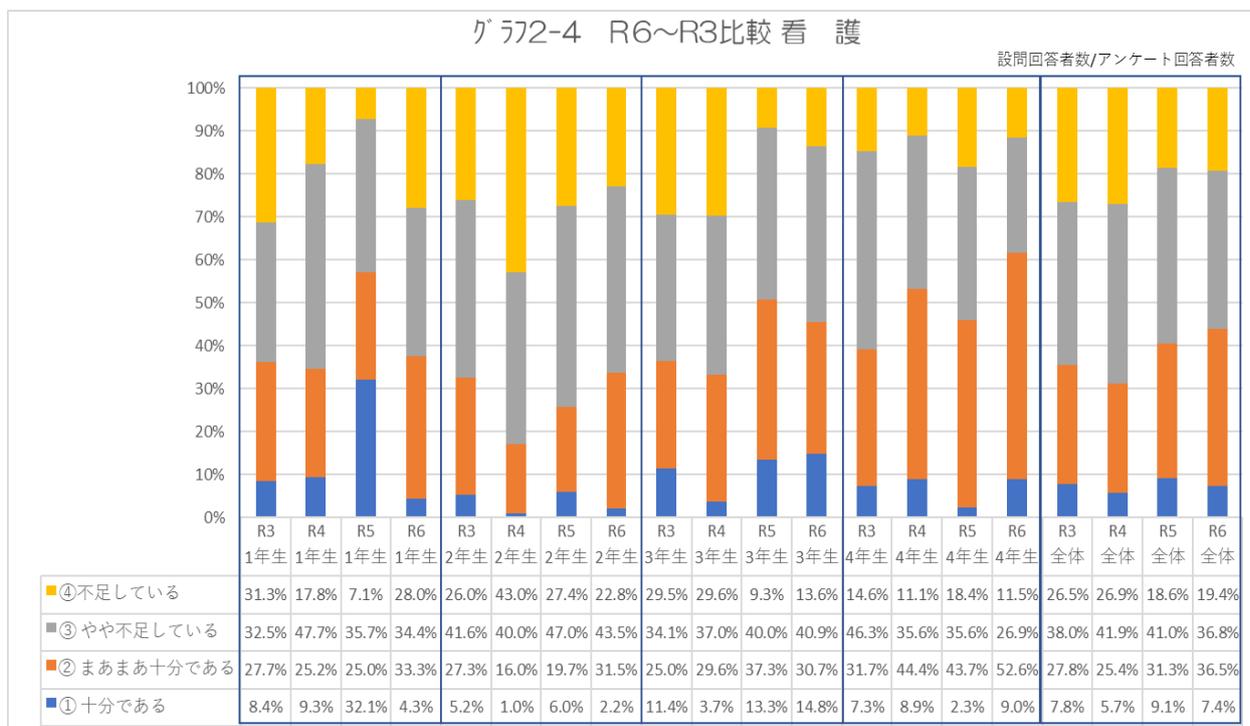
学習時間についての感じ方を学年別で年度比較したのがグラフ 2-2 である。
 大学全体で見ると、どの学年も「やや不足している」が最も多いが、学年別でみると令和 4、5、6 年度の 4 年生については、「まあまあ十分である」が「やや不足している」を上回っている。学年別にみると 10%以上の増減が起きる時もある。



グラフ 2-3 は、健康栄養学部の学生の学習時間についての感じ方を学年別で比較したグラフである。
 グラフの縦棒の割合を見てもわかるとおり、「不足している」、「やや不足している」

と強く感じているのは3年生である。ただし、令和3、4年度と比較すると「まあまあ十分である」、「十分である」が増加してきている。

気になるのは4年生で、「不足している」、「やや不足している」が合わせて見ると年度を追うごとに減少してきていたが、今年度は50%に近い数字となっている。これは勉強以外に時間を費やしている学生が増えていることが原因とだと思われる。

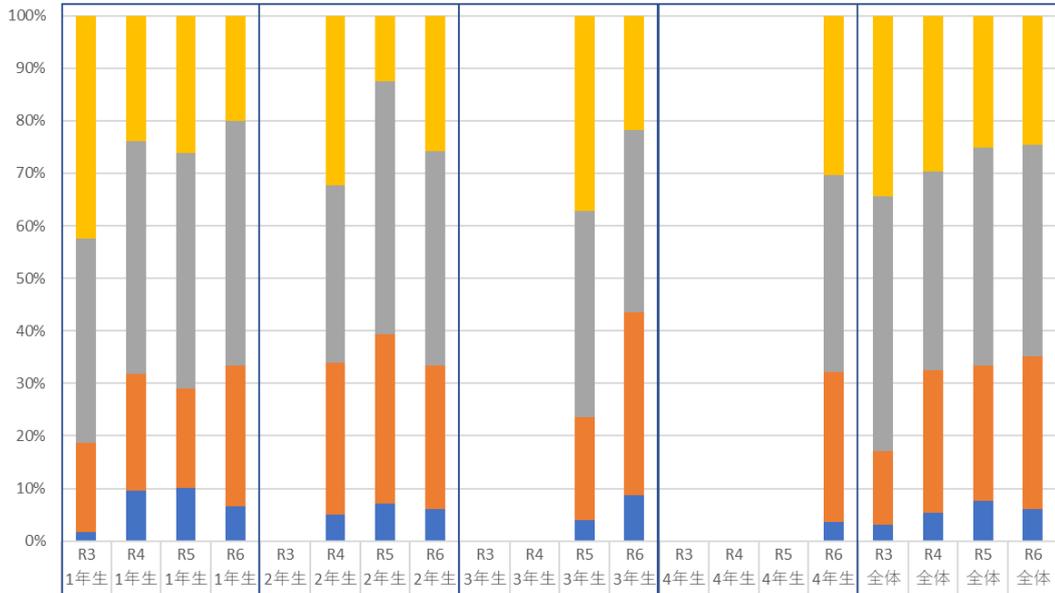


グラフ2-4は、看護学部の学生の学習時間についての感じ方を学年別で比較したグラフである。

看護学部では、1年生の回答結果において、「十分である」と回答した学生の割合が昨年度の32.1%だったのが、今年度4.3%と大幅に減少している。

それ以外は、全体的には大きな変化はない。

グラフ2-5 R6~R3比較 医療科学



④不足している	42.4%	23.8%	26.1%	20.0%	0.0%	32.2%	12.5%	25.8%	0.0%	0.0%	37.3%	21.7%	0.0%	0.0%	0.0%	30.4%	34.3%	29.6%	25.1%	24.6%
③やや不足している	39.0%	44.4%	44.9%	46.7%	0.0%	33.9%	48.2%	40.9%	0.0%	0.0%	39.2%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	48.5%	37.9%	41.5%	40.4%
②まあまあ十分である	16.9%	22.2%	18.8%	26.7%	0.0%	28.8%	32.1%	27.3%	0.0%	0.0%	19.6%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.1%	27.2%	25.6%	28.9%
①十分である	1.7%	9.5%	10.1%	6.7%	0.0%	5.1%	7.1%	6.1%	0.0%	0.0%	3.9%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.0%	5.3%	7.7%	6.1%

グラフ2-5は、医療科学部の学生の学習時間についての感じ方を学年別で比較したグラフである。

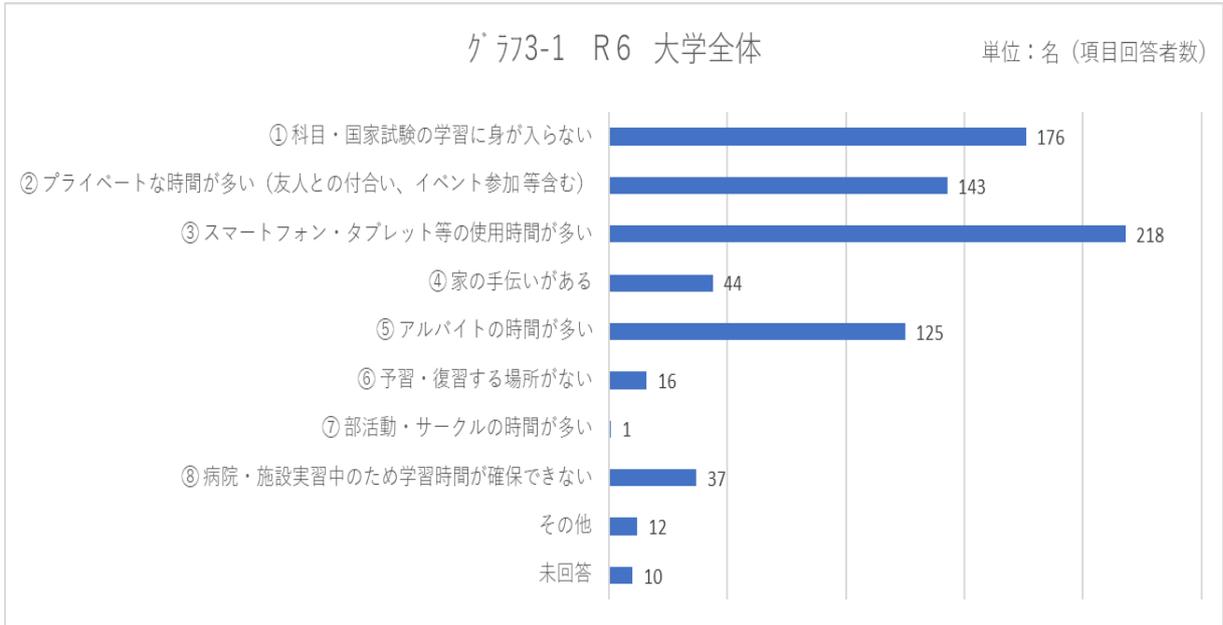
医療科学部について、全体で見ると「十分である」、「まあまあ十分である」の割合が増加し、「不足している」が減少する傾向にある。

その傾向は、同じように1、3年生で現れている。

1年生で「十分である」と回答した学生の中には、1週間の学習時間が5時間以内の学生も何名かいるので、予習・復習について理解を深めてもらう必要があると考えられる。

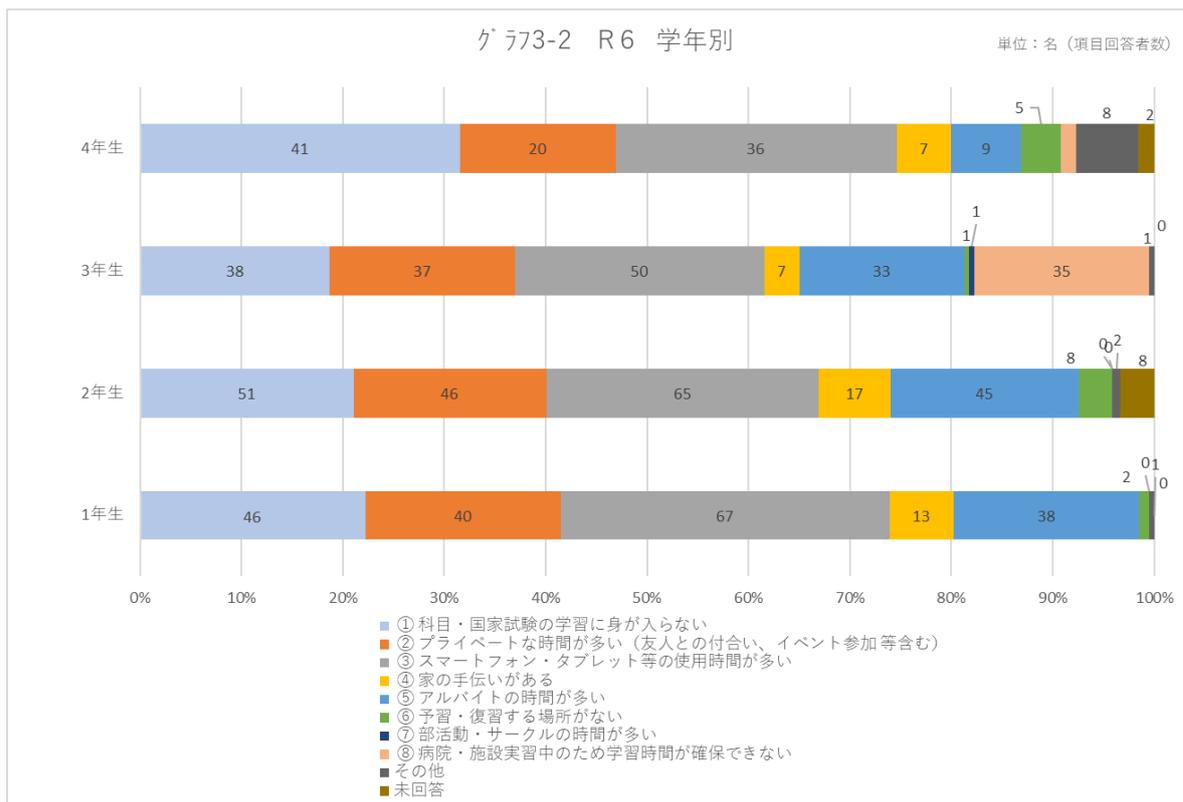
問3 問2で④不足している ③やや不足している と回答した人は、不足している原因は何でしょうか。(複数回答可)

*一昨年度から、「④不足している」、「③やや不足している」と回答した学生全てに回答を求めた。



問2で、④不足している ③やや不足している と回答した学生の、不足している原因は回答数から見ると多いのは、グラフ3-1 のとおり 1位が「③ スマートフォン・タブレット等の使用時間が多い」、2位が「① 科目・国家試験の学習に身が入らない」、3位が「② プライベートな時間が多い（友人との付き合い、イベント参加等含む）」、4位が「⑤ アルバイトの時間が多い」となった。

この結果を学年別で見るとグラフ3-2 のようになる。



その他の回答は、次のとおりである。

管理栄養学部3年生「寝ている時間が多い。」

4年生「学校への通学時間に2時間取られるため。」

看護学部1年生「課題等だけで自主的に出来なかった」、「電車通勤で朝早いから夜遅くまで勉強が出来ない、家に着くのが早くても夕方だからなかなか時間が作れない」

2年生「一人暮らしのため、家事によって勉強時間が少なくなってしまう。」

「自分の時間の使い方が下手」、「課題をやることで復習や予習の時間の確保が難しいと感じることがあるため。」、「課題をやることで復習や予習の時間の確保が難しいと感じることがあるため。」、「要領が悪いので時間がかかる」、「何をしたいのかわからない時が多い」、「通学時間が長いので、帰宅が遅い」

医療科学部 3年生「他の資格試験の勉強があるため」

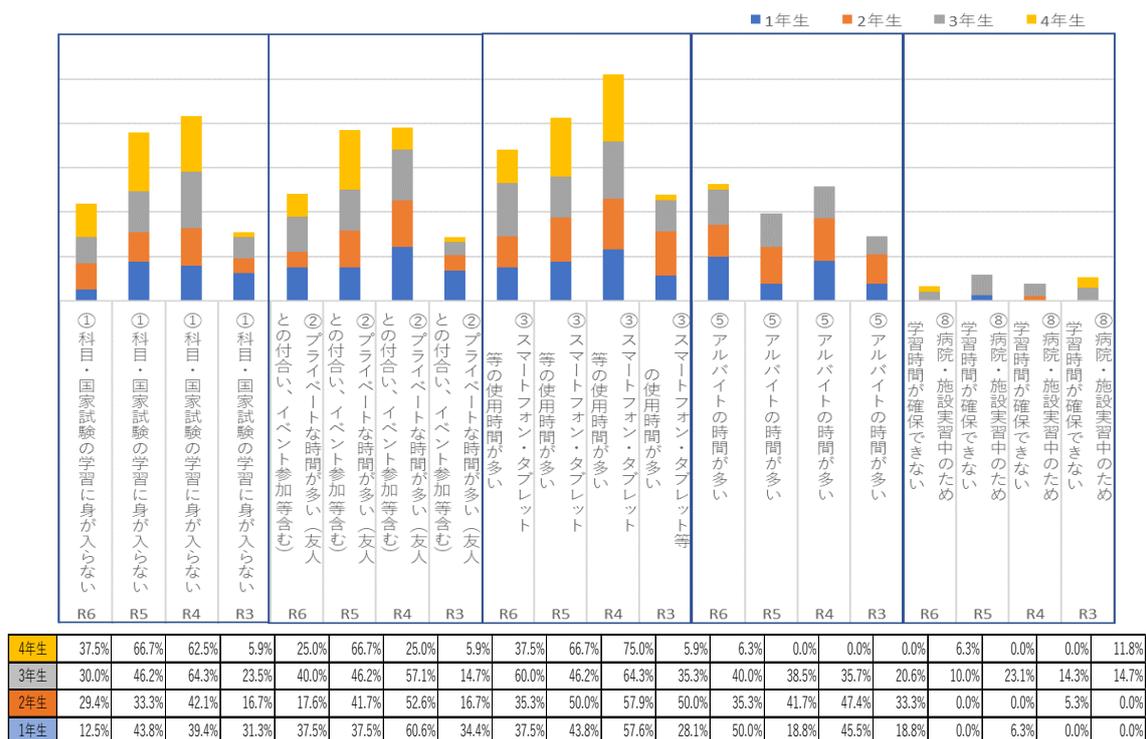
4年生「睡眠時間を減らす」、「体調が芳しくない」、「通学時間が長い」、

「寝不足」、「やる気が起こらない」、「不安」

大学全体の結果と同じように、全学年回答数の多いのは、「① 科目・国家試験の学習に身が入らない」、「② プライベートな時間が多い（友人との付き合い、イベント参加等含む）」、「③ スマートフォン・タブレット等の使用時間が多い」、「⑤ アルバイトの時間が多い」となる。

各学部・学年別に回答数の多い設問と特徴的な設問を年度別でグラフ化したものは次のとおりである。

グラフ3-3 R6～R3年度比較 健康栄養 単位：％（項目回答者数/設問対象者数）

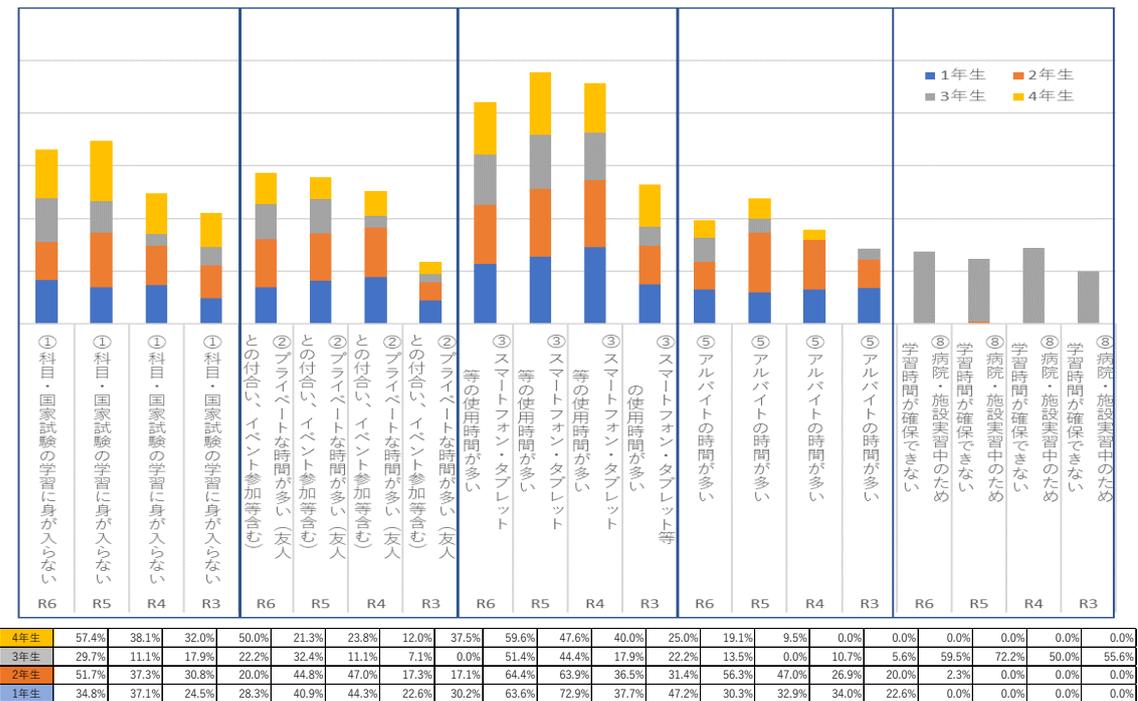


健康栄養学部では、グラフ 3-3 のとおり昨年度と比べ「① 科目・国家試験の学習に身が入らない」、「② プライベートな時間が多い（友人との付き合い、イベント参加等含む）」、「③ スマートフォン・タブレット等の使用時間が多い」の回答割合は、全学年で減少傾向にある。

「⑤ アルバイトの時間が多い」は、全学年とも増加し、4 年生も過去 3 年は 0% であったが、今年度は 6.3% となっている。

グラフ 3-4 R6～R3 年度比較 看護

単位：%（項目回答者数/設問対象者数）

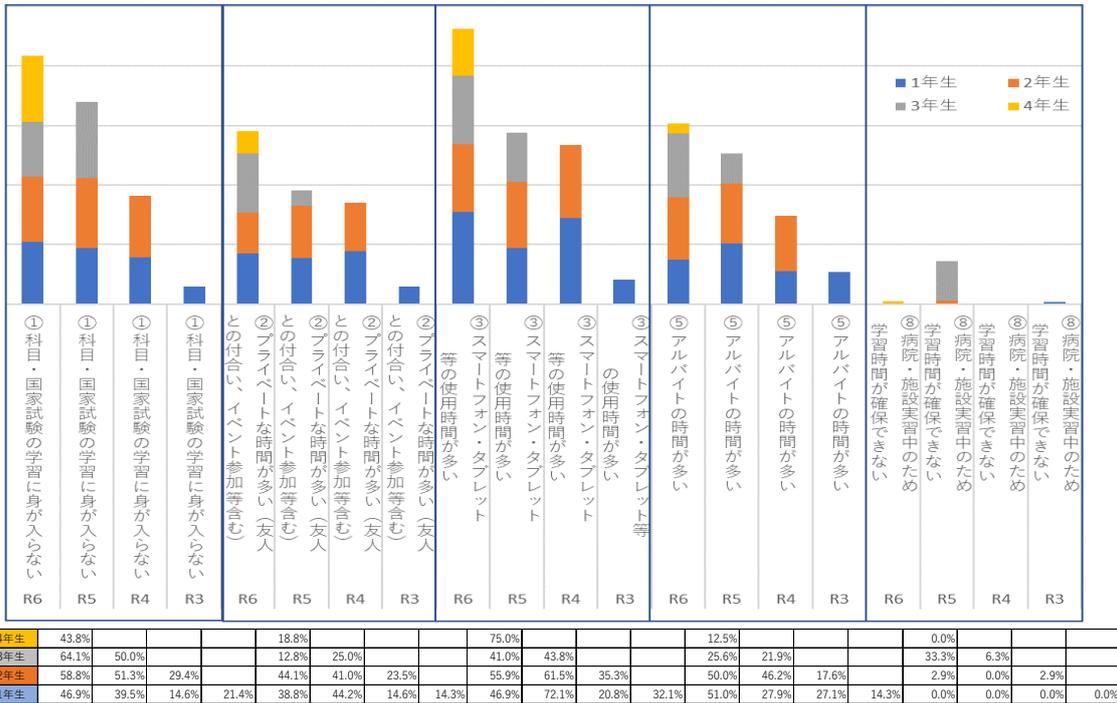


看護学部では、グラフ 3-4 のとおり昨年度と比べ「① 科目・国家試験の学習に身が入らない」、「③ スマートフォン・タブレット等の使用時間が多い」、「⑤ アルバイトの時間が多い」は、全学年で減少傾向。

「② プライベートな時間が多い（友人との付き合い、イベント参加 等含む）」が少し増えている。

特徴的な設問である「⑧ 病院・施設実習中のため学習時間が確保できない」は、3 年生がアンケート開始以来 4 年度間、設問回答者が 50%以上学習時間不足の理由に上げている。

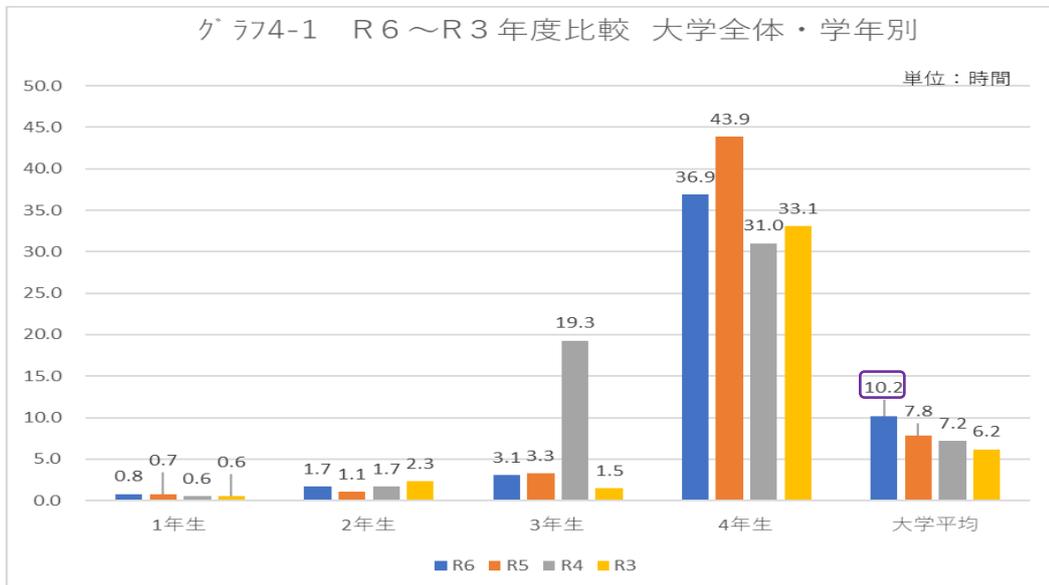
グラフ3-5 R6～R3年度比較 医療科学 単位：％（項目回答者数/設問対象者数）



医療科学部では、グラフ3-5のとおり昨年度と比べると「① 科目・国家試験の学習に身が入らない」は、1、4年生で上昇傾向。「② プライベートな時間が多い（友人との付き合い、イベント参加 等含む）」は、3年生で上昇している。「③ スマートフォン・タブレット等の使用時間が多い」は、全学年で増加傾向。「⑤ アルバイトの時間が多い」は、3、4年生で上昇傾向にある。

特徴的な設問である「⑧ 病院・施設実習中のため学習時間が確保できない」は、昨年度に比べ多く減少した。

問4 問1で回答した学習時間の内、国家試験対策の学習に使った1週間の合計時間を記入してください。

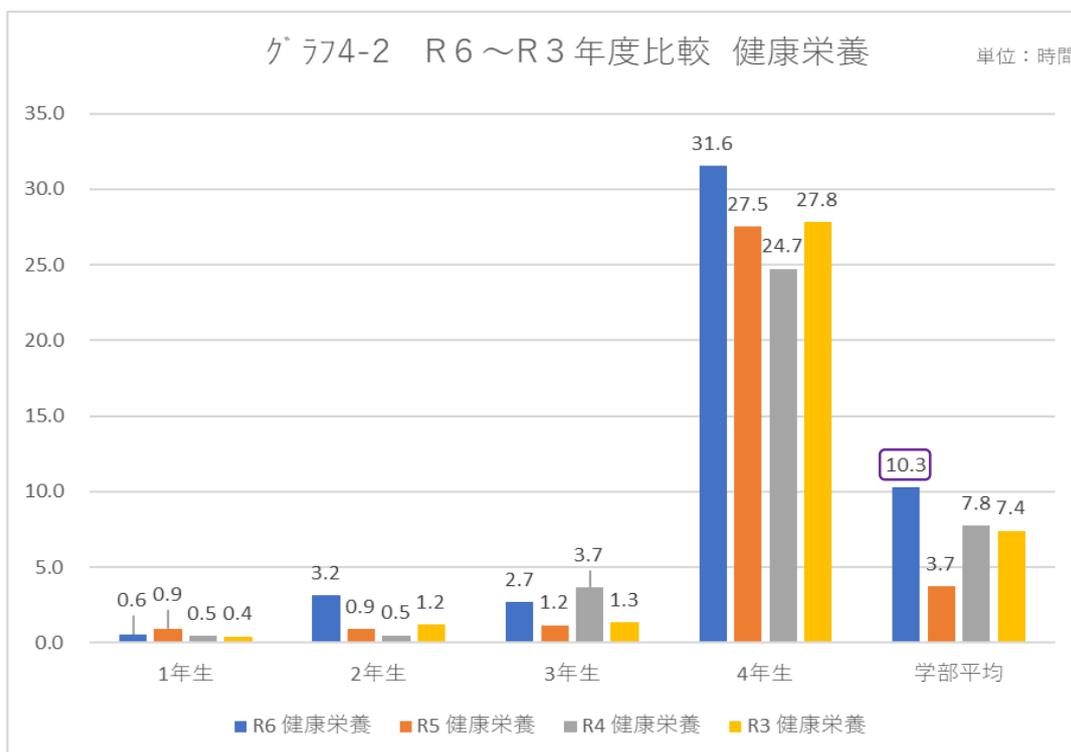


グラフ 4-1 のとおり**国家試験対策の学習に使った1週間の合計時間は、令和6年度は、大学全体平均で 10.2 時間**であった。

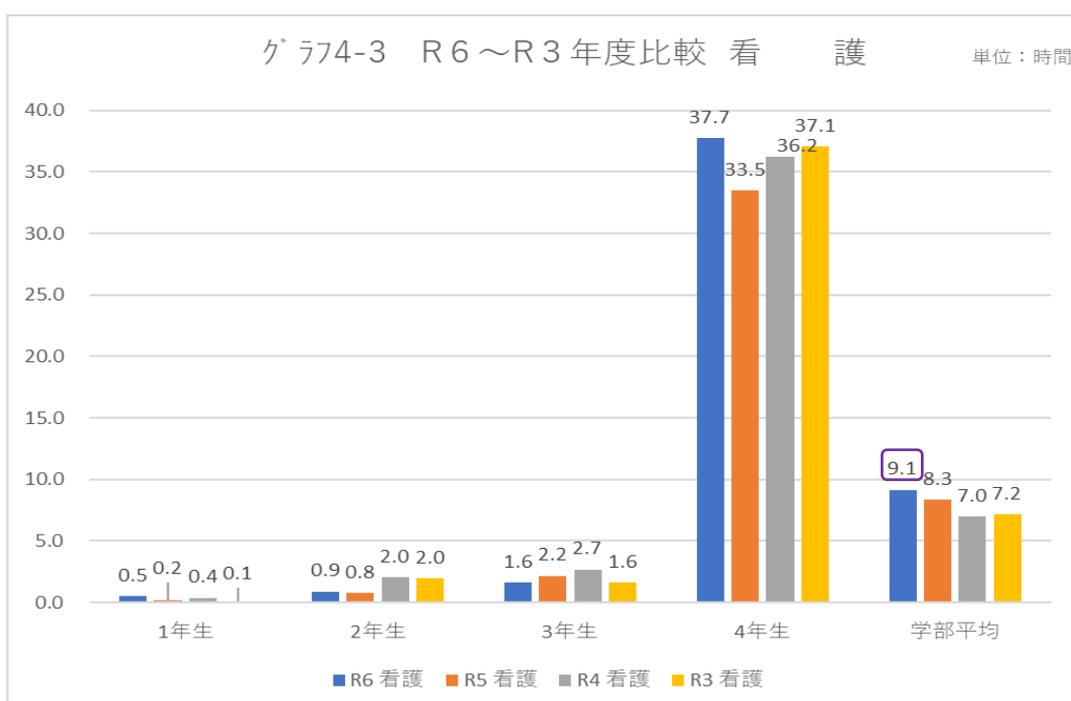
アンケート調査開始以来、毎年度上昇してきている。グラフの縦棒部分が現しているとおり、平均値を上昇させているのは4年生の時間数である。

気にかかるのは、3年生が減少、増加と隔年減少を起こしていること、2年生は、時間数が年度を追うごとに減少していたが、今年度は増加している。

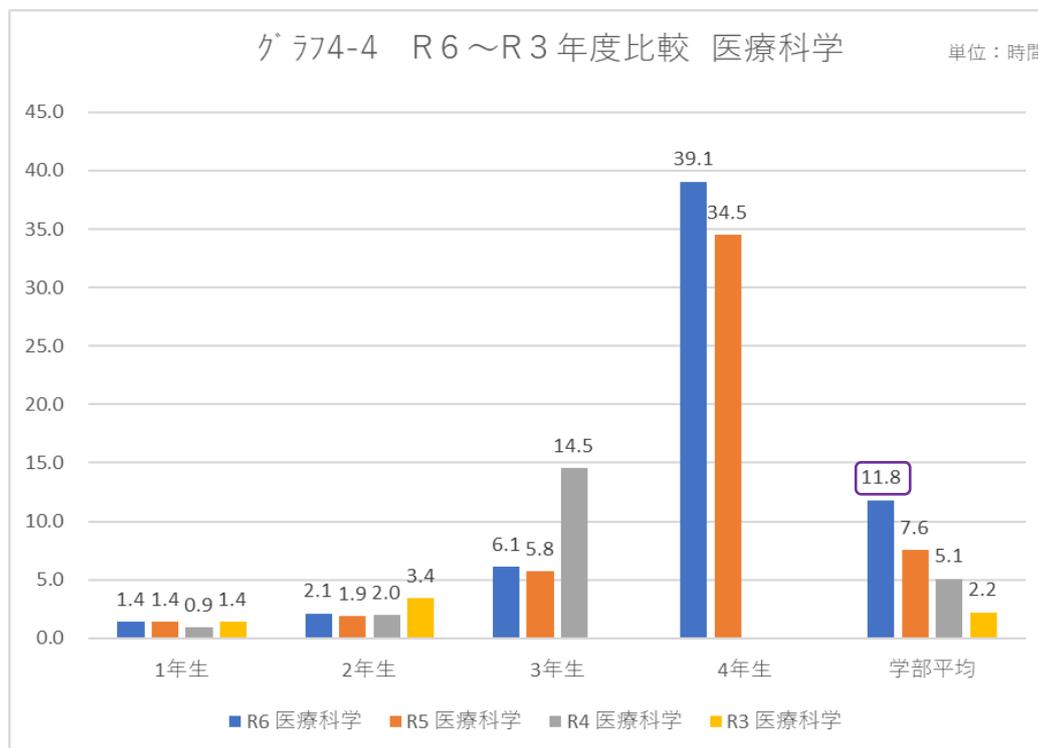
各学部・学年別に時間数を年度別にグラフ化したものは次のとおりである。



健康栄養学部では、グラフ 4-2 とおり、学部平時間数が昨年度の倍以上に増えている。この要因となっているのは2～4年生の時間数増加が影響している。



看護学部では、グラフ 4-3 のとおり 3 年生以外は時間数が増加している。3 年生の時間数が減少傾向にあることは気にかかることである。



医療科学部では、グラフ 4-4 のとおり学部全体では今年度まで毎年度合計時間数が増えていくので、平均時間数は上昇してきている。4 年生は特に増加傾向にある。

時間数「0」と回答した学生は下表のとおり。

健康栄養	回答者数	0回答数	割合	看護	回答者数	0回答数	割合	医療科学	回答者数	0回答数	割合
1年生	27	20	74.1%	1年生	93	79	84.9%	1年生	60	45	75.0%
2年生	32	12	37.5%	2年生	92	67	72.8%	2年生	66	46	69.7%
3年生	31	19	61.3%	3年生	88	42	47.7%	3年生	46	10	21.7%
4年生	34	2	5.9%	4年生	78	2	2.6%	4年生	56	2	3.6%
合計	124	51	41.1%	合計	351	190	54.1%	合計	228	103	45.2%

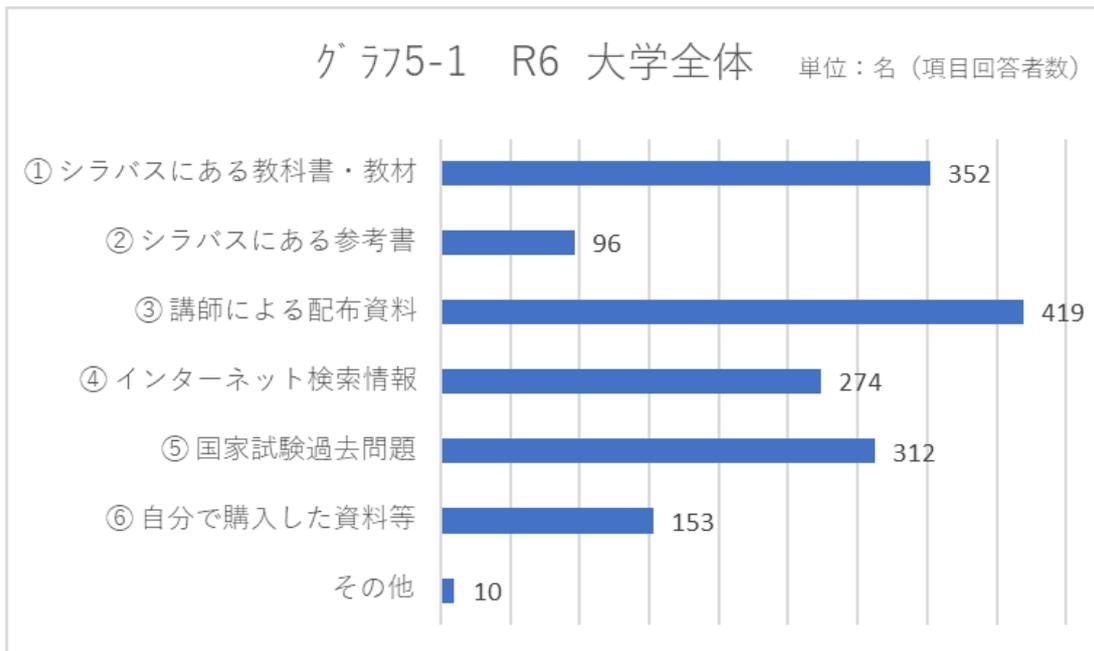
1 年生では、多くの学生が「0」回答となっている。回答割合が最も少なかった健康栄養学部でも 74.1%、20 名の学生が「0」回答である。

2 年生では、最低回答数の健康栄養学部で 37.5%、12 名の学生が「0」回答。

3 年生では、健康栄養学部 61.3%、19 名、看護学部 47.7%、42 名、医療科学部 21.7%、10 名が「0」回答。

4 年生では、各学部 2 名ずつしか「0」回答はない。

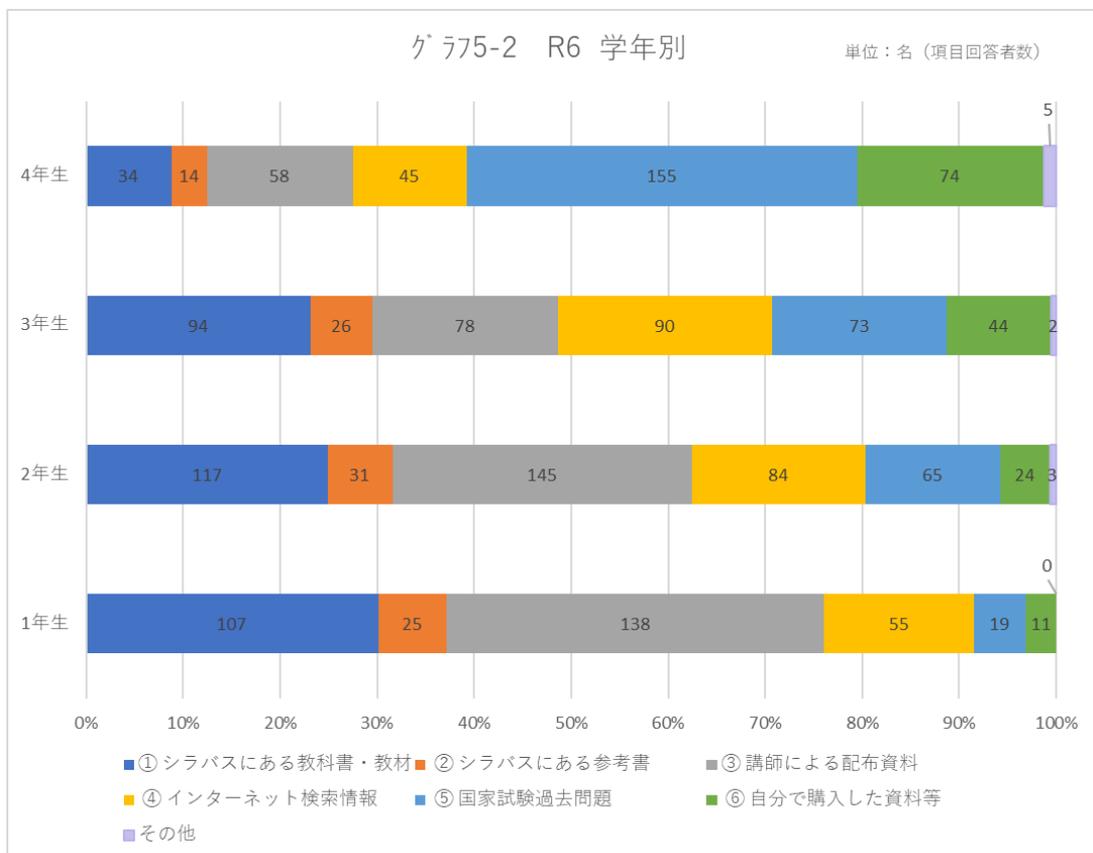
問5 予習・復習に用いる教材はどれですか。(複数回答可)



予習・復習に用いる教材は、グラフ5-1のとおり最も回答数が多かったのは「③ 講師による配布資料」回答者数419名であった。

続くのが、「① シラバスにある教科書・教材」回答者数352名で、「⑤ 国家試験過去問題」、「④ インターネット検索情報」が回答者数250名以上で続いている。

この結果を学年別で見るとグラフ5-2のようになる。



1 年生では、まだ国家試験の学習が主とはならないので、「③ 講師による配布資料」回答者数 138 名と「① シラバスにある教科書・教材」回答者数 107 名が多い。

2 年生では、1 年生と同じ項目で回答者数が多いが、ここに「④ インターネット検索情報」回答者数 84 が加わってくる。

3 年生では、国家試験学習の割合が多くなっていくので、さらに「⑤ 国家試験過去問題」が 2 年生よりも増えてきて回答数 73 名となっている。

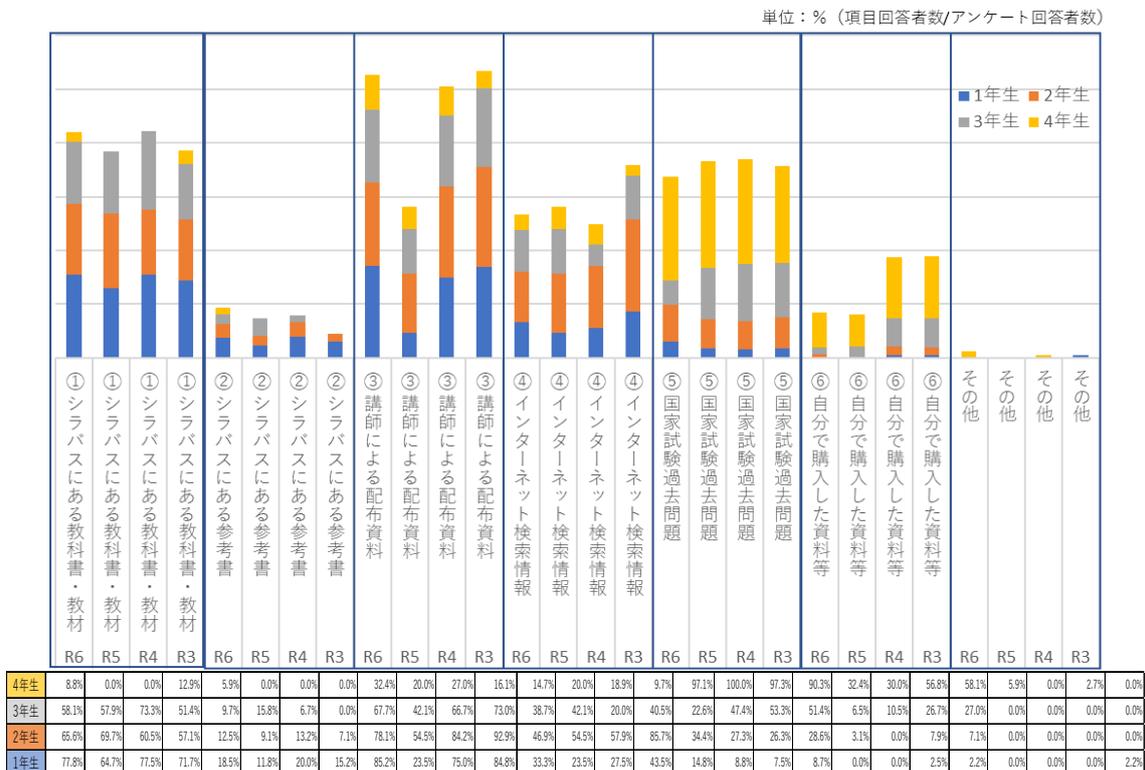
4 年生では、国家試験を迎えるので「⑤ 国家試験過去問題」の回答数が 155 名と最も多くなっている。

その他の回答内容は次のとおりである。

- 健康栄養学部 4 年生「参考書」「レビューブック」
- 看護学部 2 年生「テスト勉強しかそもそもしていない」「図書館の本」
3 年生「図書館で借りた参考書など」、「図書館の本」
4 年生「図書館にある参考書や問題集」、「アプリ版看護ルー」
「看護 roo」
- 医療科学部 2 年生「なし」

各学部・学年別に設問への回答率を年度別でグラフ化したものは次のとおりである。

グラフ5-3 R6~R3年度比較 健康栄養



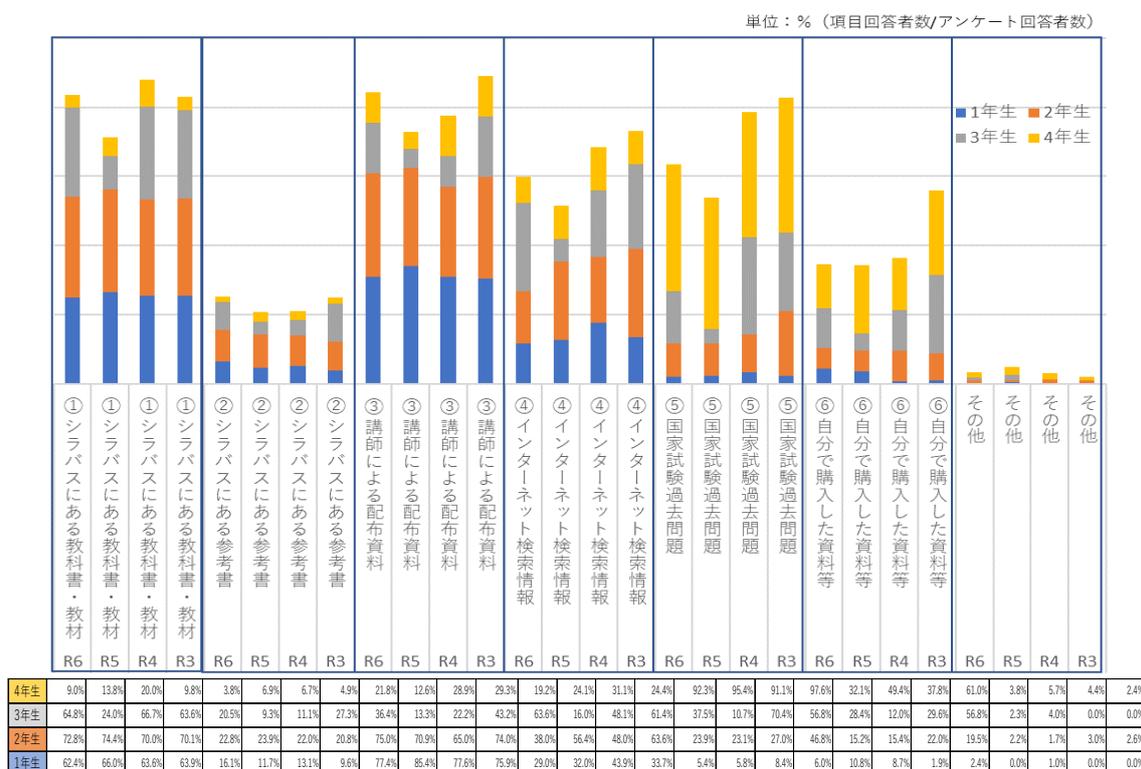
健康栄養学部では、グラフ5-3のとおり、1年生では「③ 講師による配布資料」の回答者数が、昨年度に比べると3倍近く増加した。また、「⑤ 国家試験過去問題」の回答者数も毎年少しずつ増加している。

2年生では、「③ 講師による配布資料」の回答者数が、昨年度は減少したが、また今年度は増えている。

3年生では、「⑤ 国家試験過去問題」の回答者数が22.6%と過去最低値となった。

4年生では、「① シラバスにある教科書・教材」の回答者数が、昨年まで0%だったが、今年度は3%に増えている。また、「⑤ 国家試験過去問題」の回答者数が昨年度は100%であったが、今年度は97.1%となった。

グラフ5-4 R6～R3年度比較 看護



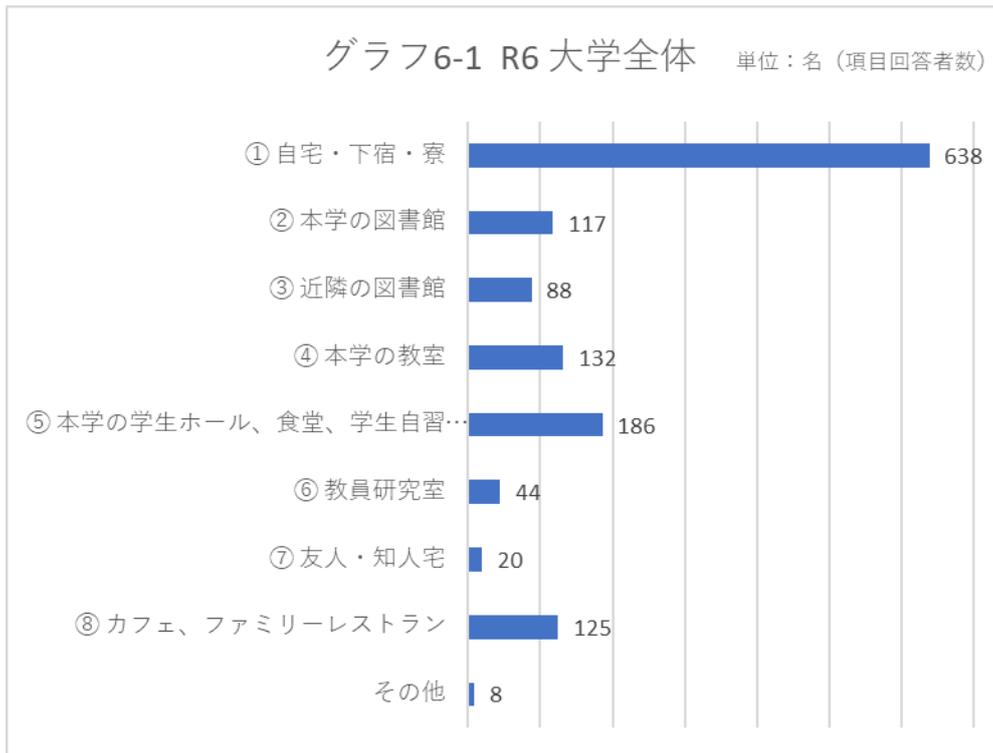
看護学部では、グラフ5-4のとおり、1年生では「③ 講師による配布資料」の回答者数が77.4%と昨年と比べると少し数値は下がっているが、他学年と比較しても高くなっている。

2年生では、「① シラバスにある教科書・教材」72.8%、「② シラバスにある参考書」22.8%で、他学年と比較しても高くなっている。

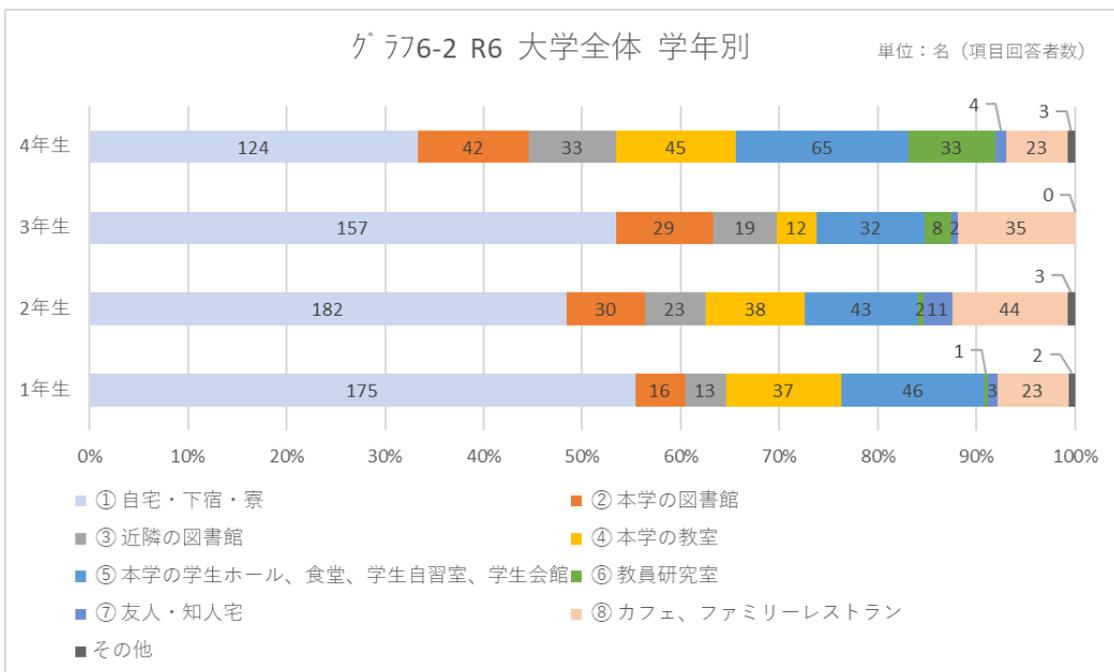
3年生は、昨年大きく減少していた「① シラバスにある教科書・教材」と「④ インターネット検索情報」、「⑤ 国家試験過去問題」については20%～40%以上増加し、例年並みの数値に戻っている。

4年生では、「② シラバスにある参考書」3.8%と「⑥ 自分で購入した資料等」32.1%は過去比較最低値となっている。

問6 普段、学習している場所はどこですか。(複数回答可)



普段、学習している所は、グラフ6-1のとおり最も回答数が多かったのは「① 自宅・下宿・寮」回答者数638名であった。昨年度と順位は同じであった。やはり「② 本学の図書館」の利用率を上げる努力が必要と感じる。この結果を学年別で見るとグラフ6-2のようになる。



どの学年も圧倒的に「① 自宅・下宿・寮」が多いが、「② 本学の図書館」、「⑥ 教員研究室」は、4年生が最も回答者数が多くなっている。

その他の回答内容は次のとおりである。

健康栄養学部 4年生「学校で勉強しない」

看護学部 1年生「交通機関」、「通学時の電車」

2年生「通学で乗る電車」「バイト先」

4年生「学校の友達だったり同じ中学生だった人が看護学生のため
近くのカフェで一緒に勉強してます。」

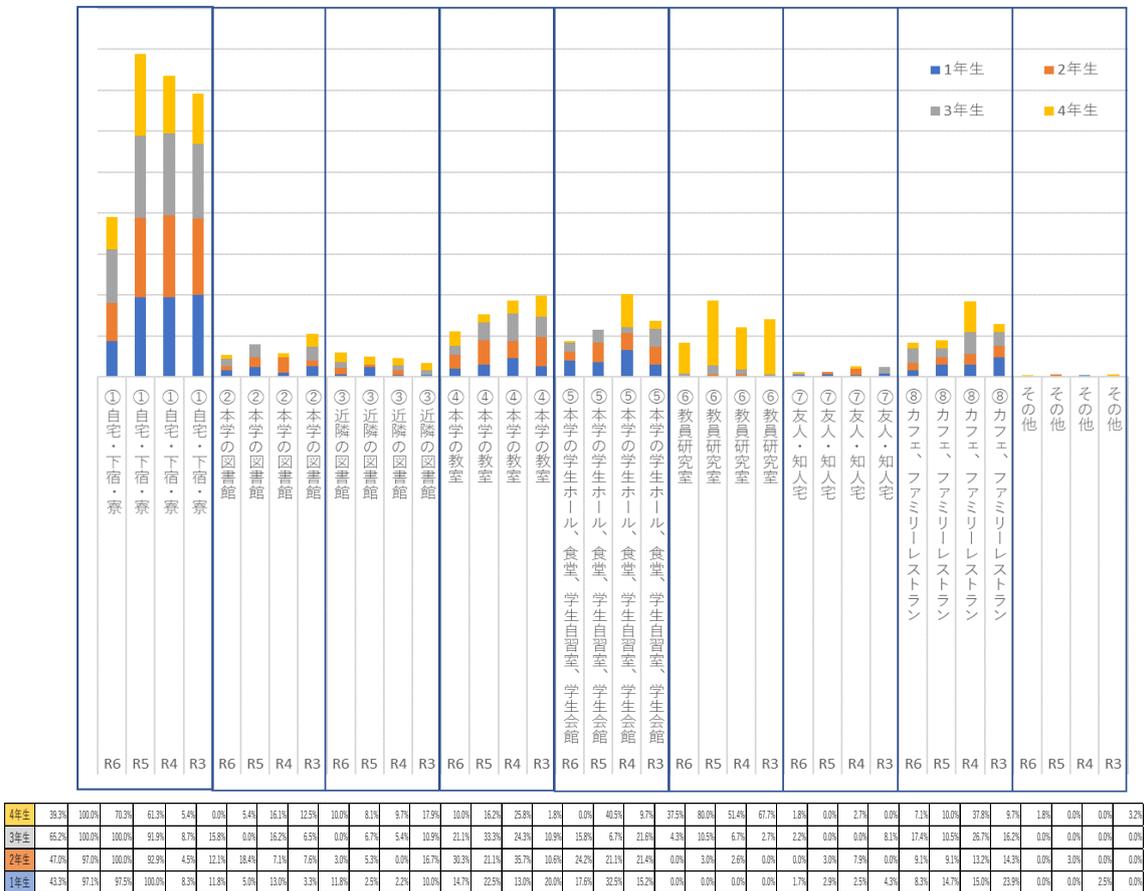
医療科学部 2年生「通学中の電車」

4年生「バイト先」

各学部・学年別に設問への回答率を年度別でグラフ化したものは次のとおりである。

グラフ6-3 R6~R3年度比較 健康栄養

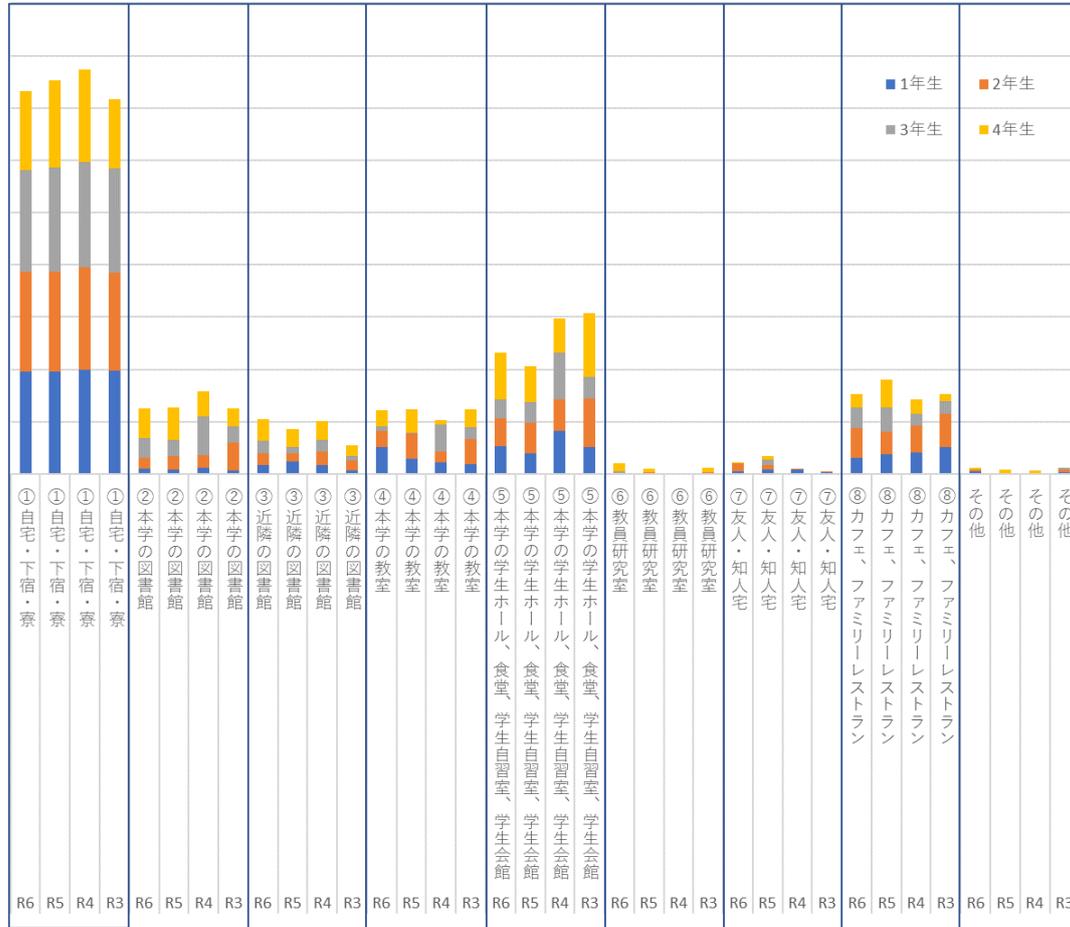
単位：％（設問回答者数/回答者数）



健康栄養学部では、グラフ6-3のとおり、「① 自宅・下宿・寮」は、毎年度最も多い回答率となっている。「② 本学の図書館」は、学部全体で隔年現象の回答率となっている。「③ 近隣の図書館」は、学年全体としては微増傾向にある。「④ 本学の教室」は、毎年減少傾向にある。「⑤ 本学の学生ホール、食堂、学生自習室、学生会館」は、令和4年度は増加しているが、それ以降は減少傾向にある。「⑥ 教員研究室」は、昨年度比で半数以下となっている。「⑦ 友人・知人宅」は、各学年とも回答率が、毎年10%を超えたことがない。「⑧ カフェ、ファミリーレストラン」は、比較すると3年生以外は減少した。

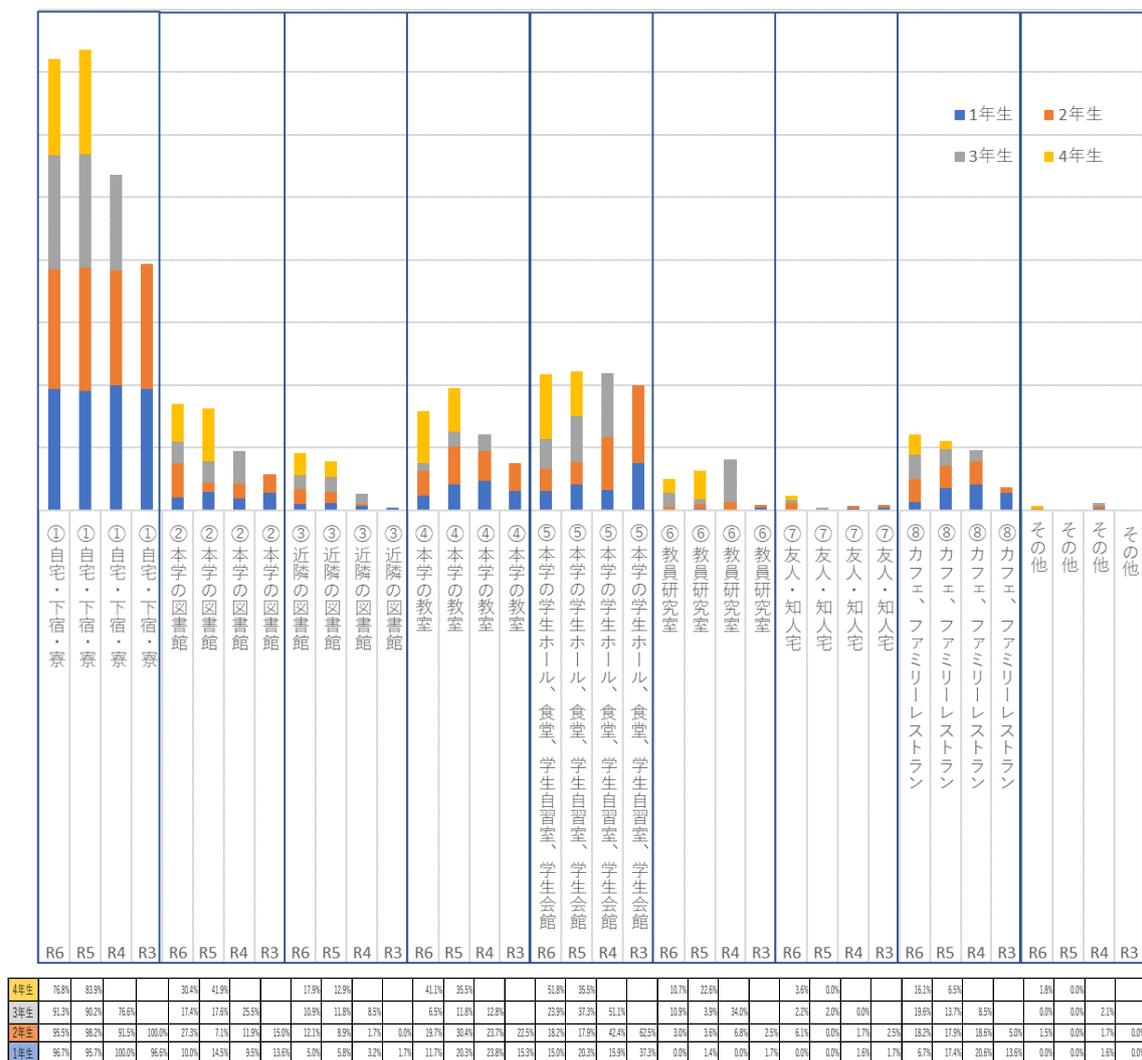
グラフ6-4 R6～R3年度比較 看護

単位% (設問回答者数/回答者数)



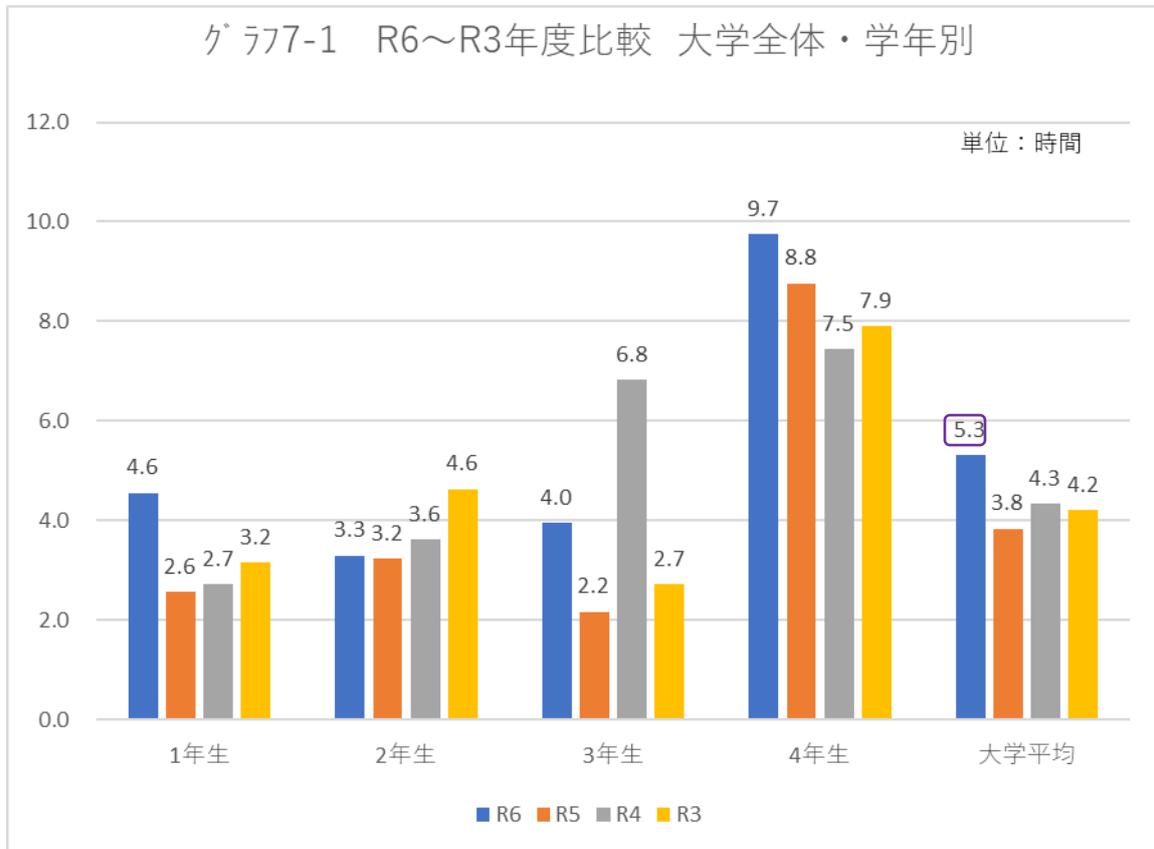
	① 自宅・下宿・寮	② 本学の図書館	③ 近隣の図書館	④ 本学の教室	⑤ 本学の学生ホール、食堂、学生自習室、学生会館	⑥ 教員研究室	⑦ 友人・知人宅	⑧ カフェ、ファミリーレストラン	その他																											
4年生	75.6%	83.9%	88.9%	65.9%	28.2%	31.0%	24.4%	17.1%	20.9%	17.2%	17.8%	9.8%	15.4%	21.8%	4.4%	17.1%	44.9%	34.9%	33.3%	61.0%	7.7%	3.4%	0.0%	4.9%	1.3%	3.4%	0.0%	0.0%	12.8%	26.4%	13.3%	7.3%	1.3%	3.4%	2.2%	0.0%
3年生	96.6%	100.0%	100.0%	100.0%	19.3%	16.0%	37.0%	35.9%	32.9%	6.7%	11.1%	4.5%	4.5%	1.3%	25.3%	11.4%	18.2%	20.0%	44.4%	20.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	20.9%	22.7%	11.1%	11.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
2年生	95.7%	94.9%	98.0%	93.5%	9.8%	12.8%	12.0%	16.0%	10.9%	7.7%	13.0%	9.1%	15.2%	23.9%	10.0%	22.4%	26.1%	29.1%	30.0%	46.8%	0.0%	1.7%	0.0%	1.3%	7.6%	4.3%	1.0%	1.3%	28.3%	22.2%	16.0%	32.9%	2.3%	0.9%	1.0%	1.6%
1年生	97.8%	98.1%	100.0%	98.8%	5.4%	3.9%	5.6%	3.6%	8.6%	11.7%	8.4%	3.6%	25.8%	34.6%	11.2%	9.6%	26.9%	19.4%	41.1%	25.9%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	3.9%	3.7%	1.2%	15.1%	18.4%	20.6%	25.9%	2.3%	0.0%	0.0%	1.2%

看護学部では、グラフ6-4のとおり、「① 自宅・下宿・寮」は、毎年度最も多い回答率となっている。令和6年度の4年生75.6%、令和3年度の4年生65.9%を除けば、全学年、毎年度80%以上の回答率となっている。「② 本学の図書館」は、学部全体で隔年現象の回答率となっている。「③ 近隣の図書館」は、学部全体で隔年現象の回答率となっている。「④ 本学の教室」は、学部全体で隔年現象の回答率となっている。「⑤ 本学の学生ホール、食堂、学生自習室、学生会館」は、学部全体としては減少傾向だが、今年度は少し増えてきている。「⑥ 教員研究室」は、4年生でも5%を超える回答率になったことがなかったが、今年度は4年生で7.7%の回答になった。「⑦ 友人・知人宅」は、各学年とも5%を大きく超えたことはなかったが、今年度は2年生で7.6%の回答になった。「⑧ カフェ、ファミリーレストラン」は、学部全体で隔年現象の回答率となっている。



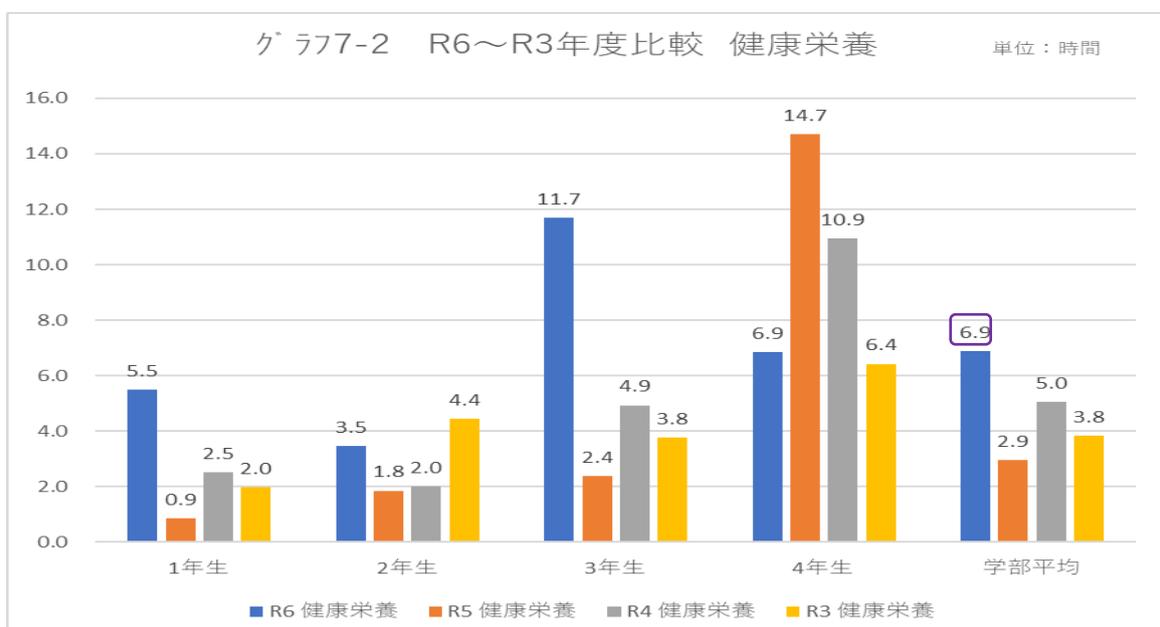
医療科学部は、グラフ 6-5 のとおり、「① 自宅・下宿・寮」は、毎年度最も多い回答率となっている。「② 本学の図書館」は、学部全体で隔年現象の回答率となっている。「③ 近隣の図書館」は、年度を追うごとに回答率は増えている。「④ 本学の教室」は、4年生以外では隔年現象の回答率となっている。「⑤ 本学の学生ホール、食堂、学生自習室、学生会館」は、毎年減少している。「⑥ 教員研究室」は、前年度比で見ると減っている。「⑦ 友人・知人宅」は、学部全体としては、他学部よりも回答率は低い。「⑧ カフェ、ファミリーレストラン」は、全体数は増えている。

問7 授業時間以外で、学習やクラブ活動、友人との交流等のために学内にいる1週間の合計時間を記入してください。

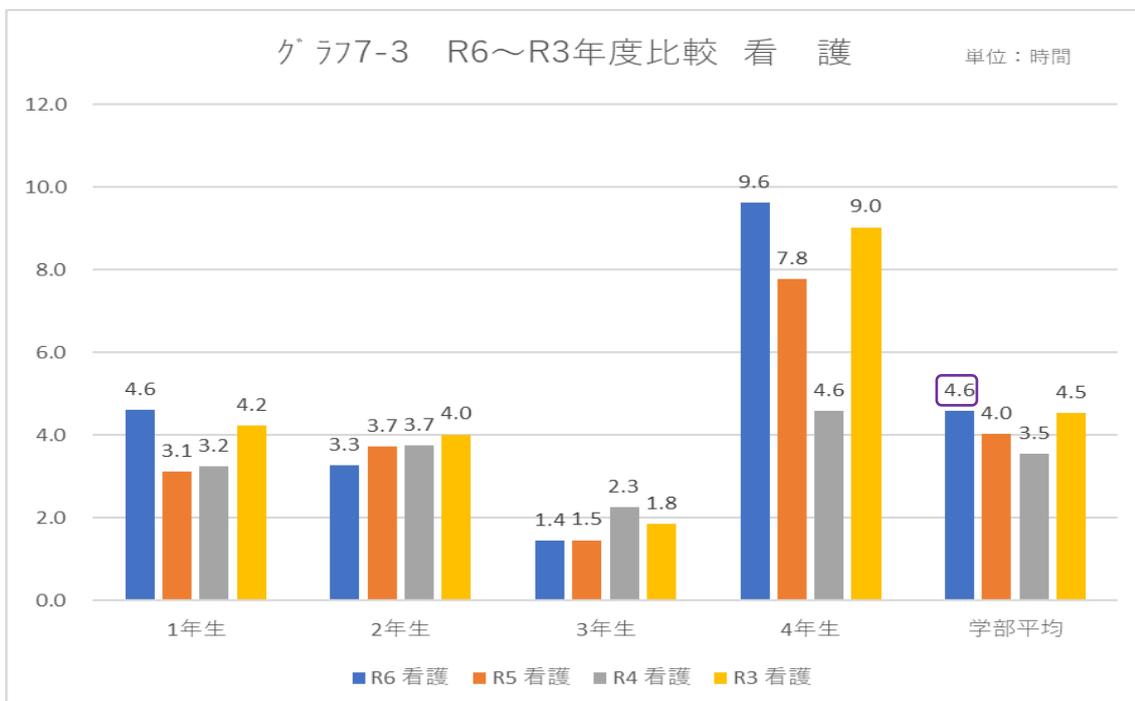


グラフ 7-1 のとおり、令和6年度の授業時間以外で学内にいる1週間の合計時間の平均は5.3時間であった。令和2年度以降、時間数は増え続けていたが、昨年度減少して、また今年度は増加している。全学年で昨年度より時間数が増加している。

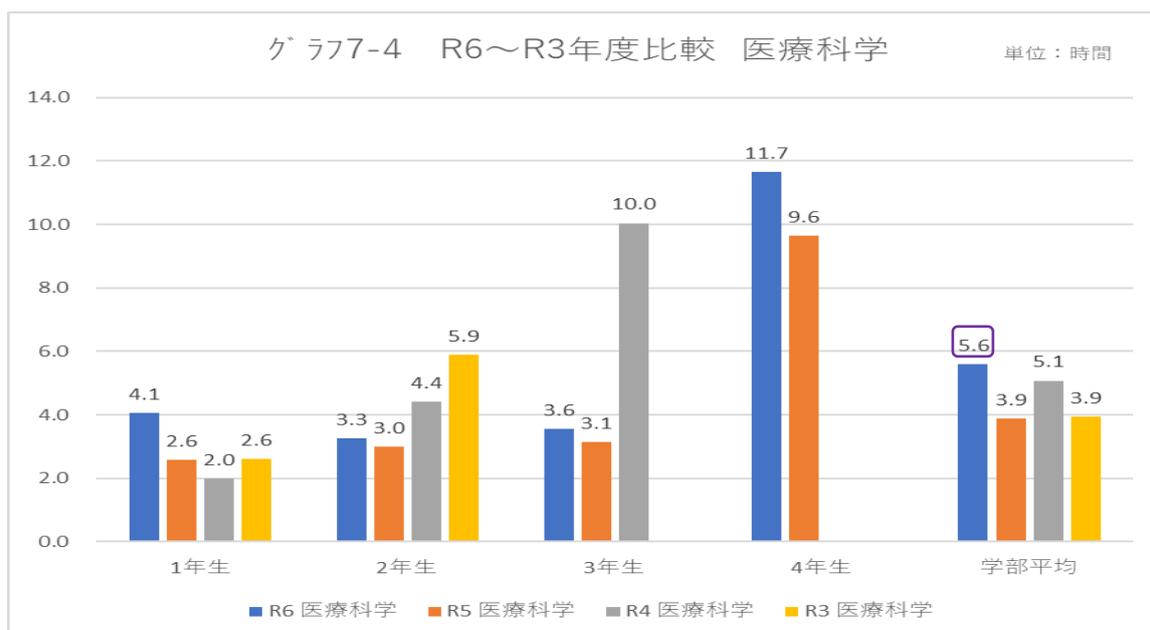
各学部・学年別に時間数を年度別にグラフ化したものは次のとおりである。



健康栄養学部では、グラフ 7-2 のとおり、学部全体では、令和 4 年度と比較して 4.0 時間増加して過去最高の時間数となっている。各学年で見ても 1～3 年生は、令和 5 年度と比較して時間数は増え、4 年生のみ 7.8 時間減少し過去最低の 6.9 時間となった。

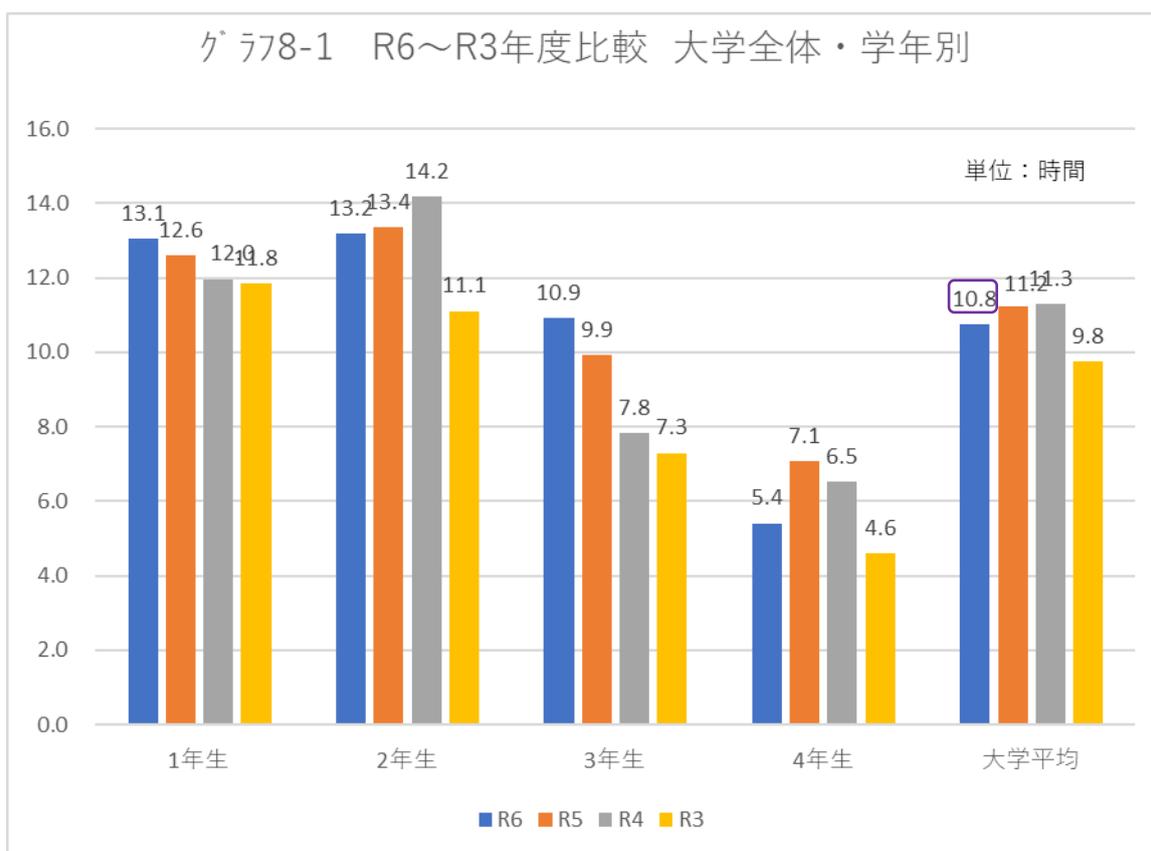


看護学部では、令和6年度学部全体の平均時間は 0.6 時間と増加したが、学年別で見ると令和 5 年度と比較し、1 年生と 4 年生は増加した。2 年生と 3 年生はほぼ変化なし。通常授業、国家試験対策、臨地実習と大切な学年である 3 年生の学習時間数については、注視していく必要がある。



医療科学部では、昨年度の平均時間から増え、平均時間は 5.6 時間となった。全学年とも昨年度より増加している。

問8 アルバイトを行っている1週間の合計時間を記入してください。



グラフ 8-1 のとおり、令和 6 年度のアルバイトを行っている1週間の合計時間の平均は10.8時間であった。大学平均は令和 5 年度とあまり変わらないが、学年別で見ると平均時間数は、1、3 年生は時間数が増え、2、4 年生は減っている。

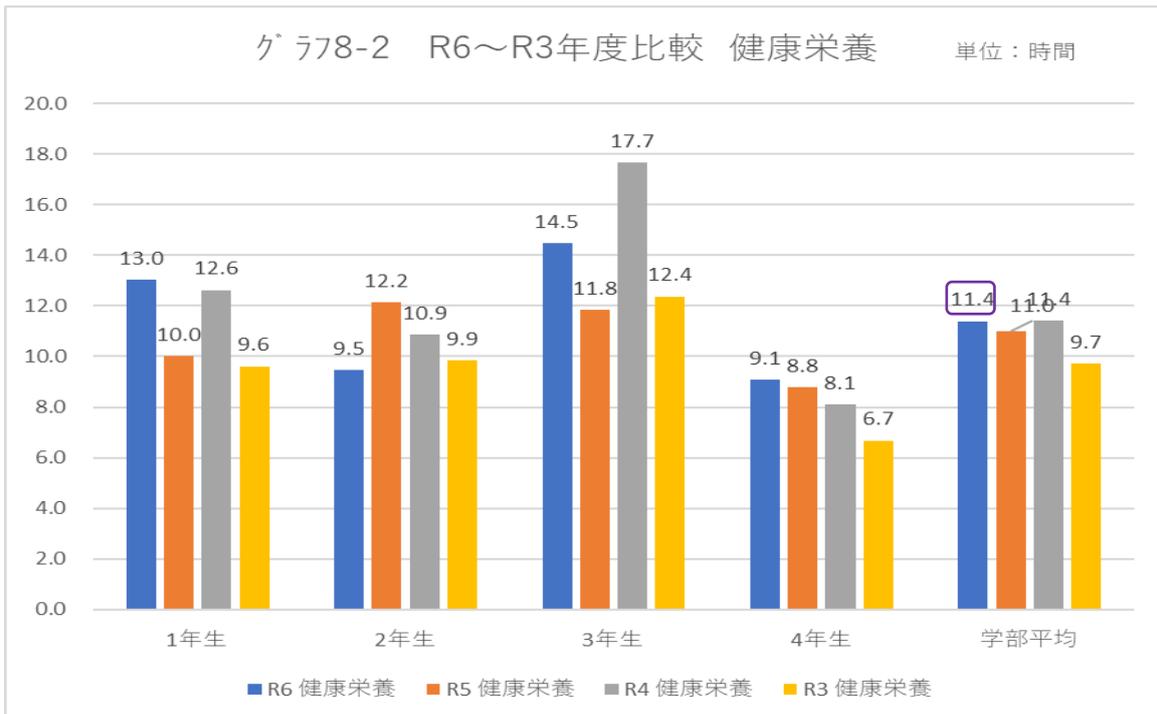
1、2 年生では、昨年度に続き平均時間が 10 時間を超えている。また今年度は 3 年生も 10 時間を超えてきている。気になるのは臨地実習等や国家試験、卒業研究等のある 3 年生の時間数が増加してきていることである。

各学部・学年で 1 週間のアルバイト時間数が 20 時間を上回った学生の回答者数とアンケート回答者数における割合は次のとおりである。

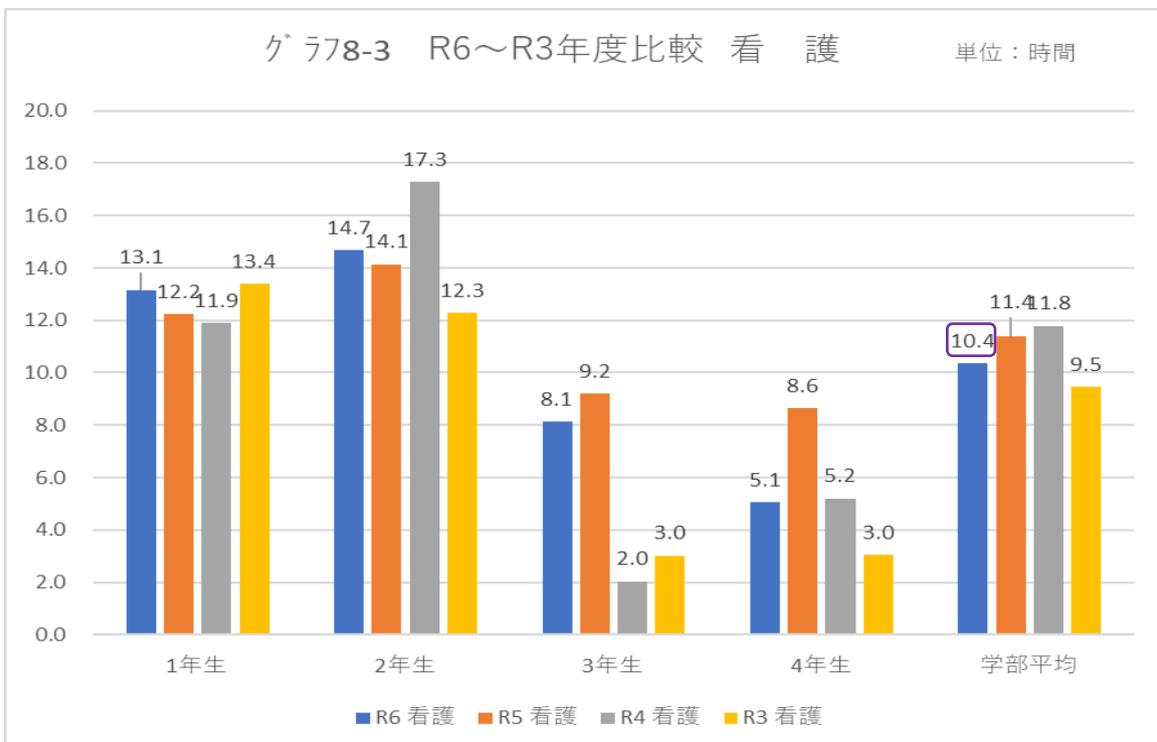
健康栄養				看護				医療科学			
学年	回答者数	20H以上	割合	学年	回答者数	20H以上	割合	学年	回答者数	20H以上	割合
1年生	27	7	25.9%	1年生	93	19	20.4%	1年生	60	11	18.3%
2年生	32	3	9.4%	2年生	92	15	16.3%	2年生	66	21	31.8%
3年生	31	9	29.0%	3年生	88	15	17.0%	3年生	46	17	37.0%
4年生	34	4	11.8%	4年生	78	4	5.1%	4年生	56	1	1.8%
合計	124	23	18.5%	合計	351	53	15.1%	合計	228	50	21.9%

管理栄養学部では、全ての学年で 20 時間を上回った学生の割合が昨年度の割合を上回った。看護学部では、4 年生以外はどの学年も上回ったが、特に 2 年生は昨年度割合を倍近く上回った。医療科学部では、1 年生以外は割合が増えたが、1 年生が 7 名減った。どの学部学年も基本的に回答者数も割合も増えていることをどう捉え、どのように指導していくかが今後の課題と思われる。

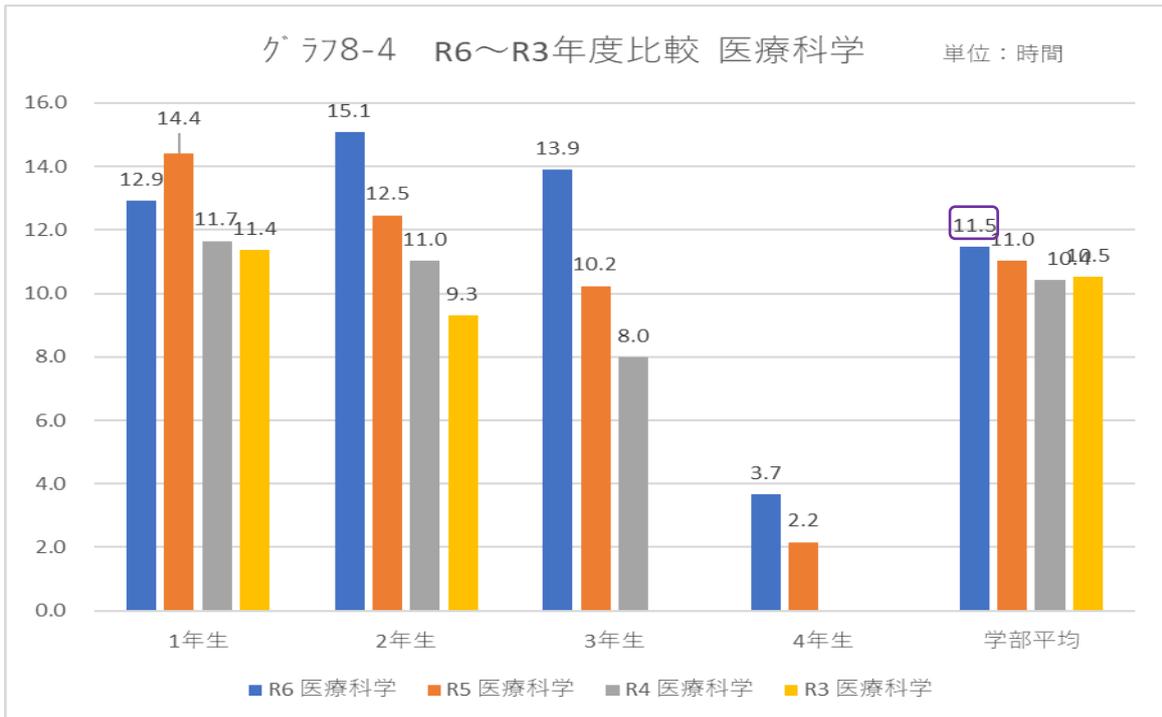
各学部・学年別に時間数を年度別にグラフ化したものは次のとおりである。



健康栄養学部では、グラフ8-2のとおり、学部全体ではアルバイトを行っている1週間の合計時間の平均は11.4時間と令和5年度と比較しても大きな変化はない。しかし、2年生で減少に転じているのに、1、3年生で増加していることは注視する必要があると思われる。



看護学部では、グラフ8-3のとおり、学部全体ではアルバイトを行っている1週間の合計時間の平均は10.4時間と令和4年度と比較しても少し減少している。しかし、1年生、2年生が微増という中で、3、4年生の平均時間数が大きく減少していることについては、臨地実習等や国家試験、卒業研究等に時間が使えていると思われる。



医療科学部では、グラフ8-4のとおり、学部全体ではアルバイトを行っている1週間の合計時間の平均は11.5時間と令和5年度と比較しても大きな変化はない。しかし、2、3、4年生でアルバイトの時間数が上昇してきていることを注視していく必要があると思われる。

本学の授業に期待することを記入してください。

健康栄養学部

1年生	
1	わかりやすい講義。
2	聞くだけ受けるだけの授業ではなくて、先生とのやり取りや学生同士でディスカッションし合える参加型の授業だとインプット→アウトプットができるため知識がより身につくのかなと思います。 田村明先生の授業は程よく集中できる講義タイムがあり、途中で学生への質問タイムが入ってアウトプットできる時間があり、ときには小話があって笑いがあつたりと、とても楽しい授業で90分があつという間です。 一方で、ただ聞くだけの受け身の講義では、眠くなったり集中が切れてしまうことがあります。 時間を有意義に使える講義が増えたらいいなと期待しています。
3	選択講義の幅をより広げて欲しい。
4	自分がより良い知識を取得できるように、色々な情報を得たい。ただ、教科書を読むだけの授業じゃないもの。先生と少し会話ができる時間があるとより良い。
5	みんなで話し合う授業。
6	寝ずに話を聞けるか。
7	栄養士になれます。
8	わかりやすい授業や楽しい授業。
9	英語の先生を変えてほしいです。英語で説明しても分からないので日本語のできるに変えてほしい。
10	英語の先生を日本語ができる人に変えて欲しいです。
2年生	
1	眠くならない授業にしてほしいです。
2	眠くならない面白い授業がいいです。
3	楽しいと思えるような授業。
4	分かりやすさ。
5	なし。
6	わからないところが講義などを通して理解できるようになること。
7	教科書が多くて大変なためタブレット教材の導入に期待します。
8	実践的技能と資格へのサポート。
9	特にない。
10	授業プリントの文字が時々潰れていて見づらい時があるのでもう少し見やすくして欲しい。
11	管理栄養士国家試験に合格出来るような授業。
12	国家試験の対策がしっかりしている授業。
13	欠席した授業時間と欠席課題の量が合わない。
3年生	
1	なし。
2	国家試験の対策にもう少し力を入れる。
3	分かりやすい講義。
4	ない。
5	特にないです。
6	とくになし。
7	特にありません。
8	わかりやすい解説。
9	体験型。
10	グループワークで参加していない人ややっていない人をしっかり注意してほしい。
11	適切な資料を配布して欲しい。
12	なし
13	責められないこと。

4年生	
1	生徒に寄り添うサポートを継続して行って欲しい。
2	ない。
3	授業アンケートを見て講義に反映できるよう取り組んだ方がいいと思います。
4	親身になって教えていただけるため、特にありません。
5	国家試験対策。
6	早いところ実力知りたかったので、模試を4月からやるべきだと思う。
7	とくになし
8	質問がしやすい環境。
9	わからない部分を解決。
10	知識を深く身につけたいです。

看護学部

1年生	
1	具体例あげる時実際の写真を増やして欲しい。
2	単位が取れる。国試に合格できる能力を身につける。
3	適温な教室。
4	特になし。
5	特になし。
6	分かりやすく楽しい講義。
7	後ろの席では、マイクありでも声が聞き取りにくい、テレビに映されている資料が見えないことがあるので改善してもらいたい。
8	もっと分かりやすく説明をしてもらいたい。
9	特になし。
10	国試に向けての対策。
11	特にない。
12	最新の知識を学べること。
13	特にないです。
14	国試対策のサポート。
15	教室にいる全員が聞き入るような授業。
16	国試に合格できるような授業。
17	国試対策。
18	基礎知識定着。
19	先生方のサポート。
20	小児看護で講義資料でのテストで大事な部分など穴埋め方式にしてほしいです。期末試験ではなく小テストで成績をつけるという授業を多くして欲しい。
21	特になし。
22	看護について興味を持てる授業。
23	国試対策。
24	国試合格のための有意義のある授業。
25	自由席にしてほしい。買った教科書をしっかり使って欲しい。
26	各授業内で自分で問題を解いたり、考える時間があれば良いと思った。
27	ない。
28	国家試験に向けて。
29	基礎看護の知識、技術をもっとつけれるようにすること。
30	なし。
31	特になし。
32	特になし。
33	国試対策がされている授業。
34	国試対策。
35	将来の職のためになる授業。

36	分かりやすい授業をしてほしい。
37	臨床で活かすことが出来る知識を得る。
38	見やすいレジュメ。
39	ポータルサイトやインターネットを使用して授業を行う際、トラブルが多いのでこれからはもう少しスムーズに授業を進められるようにしてほしい。
40	特に無し。
41	特にない。
42	国家試験対策を十分に行っていること。
43	国試に受かること。
44	特になし。
45	ない。
46	看護するのに必要なこと。
47	わかりやすい講義資料。
48	聞くだけの授業ではなく書き込みがある授業のほうが覚えやすいと思うのでプリントを貰って説明してもらって授業を減らして欲しい。
49	席が自由。
50	特になし。
51	たくさん問題をときたいです！
52	とくにない。
53	要点が分かりやすいこと。

2年生	
1	看護に関してより深いところまで学びたい。
2	土日祝日に講義を極力入れないで欲しい。
3	特になし。
4	先生との距離が近く、授業や授業後などでより先生に相談できるような環境。
5	特になし。
6	看護師になれること。
7	施設の改装。
8	講義内で時間が足りなくなりそうな時、早足になって説明したり飛ばして説明したりするとメモしたいこともメモできないし、どこを話しているのかもわからない。教科書を確認する時間もないことがあるのでゆっくり丁寧に説明していただきたい。 余談の時間が長くて講義時間が無駄になっていることがあるため、わかりやすく理解するための余談なら良いが、余談は程々にしていただきたい。
9	少数派の意見が総意として進められることがない授業を受けられること。
10	特になし。
11	わかりやすい授業。
12	授業内のトイレの自由が無いから、不便極まりない。
13	わかりやすくしてほしい。
14	特になし。
15	国試100%合格。一人一人に寄り添ってもらえる。
16	ない。
17	難しいアセスメントを個別で教えて欲しいです。
18	高圧的な授業でないこと(人を泣かせる授業、態度は授業に身が入るとは思わない) 常識的な制限時間で課題やテストなどを出すこと(この時間にするという理由もまとめて教えてほしかったです。)
19	講義の難易度を少し下げて欲しい。生徒参加型の講義増やして欲しい。
20	自由席。
21	買った教材を絶対に活用する。
22	一方的な講義ではなく楽しく理解できる講義を望みます。 あと、トイレに関しては講義中に行きたくなるときもあります。いまの講義の雰囲気だとトイレに行きたいと思っても行けるような雰囲気ではないです。必ず10分以内には戻ってますし、それでも、だめなら監視もつけてください。

23	特になし。
24	なし。
25	ない。
26	ない。
27	学費を少しでも安くすること。
28	特になし。
29	講義資料がない授業などもあるためノートに自分で取ることも必要だが、あった方が勉強がはかどる。
30	教科書の購入など、先生と生徒、教務課間で把握が不足しているため、必要なものをはっきりさせてほしい。
31	なし。
32	国試や実習、卒業後の業務に直結する学科であることは理解しているが、受講していてワクワクする、次回も楽しみになり予習や復習をしたくなるような講義であると前向きになれるのではないかと感じます。mustより学生のwantを刺激されることに期待したいです。
33	特にないです。
34	マイクの音量調節。
35	特にないです。
36	国試対策強化。
37	わかりやすい授業。
38	教科書を読むだけでは得られないプラスの知識を学びたいです。教科書をただやっているだけの学習であれば、先生がいなくても、自分で学習可能だと考えるためです。
39	なし。
40	特になし。
41	生徒に寄り添った授業。
42	特になし。
43	授業内容に関連した臨床でのエピソードや体験談などがあれば印象やイメージが湧きやすいので聞きたいです。
44	特にない。
45	楽しくわかりやすい授業。
46	なし。

3年生	
1	使わない教科書を買わせない。上着などの購入を強制しない。課題や記録の量、身だしなみ、他様々なルールにおいてを過去関係なく適正な判断を行う。
2	特になし。
3	ないです。
4	特に無い。
5	実際に実習の場において習得しておくべき知識や技術を中心的に教えて欲しい。
6	わかりやすい説明。
7	国試合格。
8	学ぶ場が平等であり、個人の評価を忖度なくつけていただきたいです。
9	アセスメントの授業をヘンダーソンだけでなくゴードンもしたほうがいい。
10	特にないです。
11	空きコマをできるだけなくして欲しいです。
12	出欠は、キーワード入力だとその場に居ない人でも入力が可能のため、授業のはじまりとおわりに座席で確認して欲しいです。 授業の出席率に対して、授業中に、参加するように、と伝えても来ていない人には伝わらないため、来ていない人にポータルサイトで伝えるなどして欲しいです。また、授業の参加率によってテストに関する参考資料を配布する・しないを変えると伝える教員がいたため、そのようにするのではなく、きちんと参加している人には配布するなど筋の通った方法で行って欲しいです。
13	特にないです。
14	学生の意見を取り入れて欲しい。
15	教員の指導に差がないこと。臍貞がないこと。
16	学力の向上。関心・興味・意欲の向上。
17	生徒を臍貞しないこと、教員によって教え方を同じにすること。

18	特になし。
19	特になし。
20	実習で役立つ教科書に載っていないことまで知ることができる。
21	分かりやすさ。
22	今は授業がないので、特に思いつかないです。
23	特になし。
24	国試対策。
25	教員によって差がないこと、臍負がないこと。
26	特になし。
27	国家試験に受かる知識を身につけられる。
28	なし。
29	特になし。
30	国家試験対策。
31	毎回の授業資料に国試の問題を入れてほしい。
32	記憶に残る授業。
33	国試合格。
34	実習の指導教員で内容に差がないようにして欲しい。
35	国家試験に受かる。
36	特になし。
37	国家試験対策。
38	わかりやすい説明。
39	質問をしやすい環境だと学習しやすいと思います。
40	国家試験に合格できる知識の提供。
41	国家試験に合格できる知識の提供。
42	国家試験合格。
43	国家試験合格のための情報提供。
44	実習の記録の量を減らして欲しい。

4年生	
1	期待してない。
2	もう少し、大学が閉まるのを遅くして欲しい。また、学食も遅くまでやっている嬉しい。 外部講師の授業は、好きな子同士で座らせて欲しい。先生方が誰が欠席かの把握がしやすい様に席が決められているのは分かるが、好きな子同士の方がペアで授業を受ける時に喋らないといけないときに喋りやすく勉強がしやすい。ペアで話さないと喋れない時に、向こうが話してくれないと無言の時間になってしまい、せっかくの外部講師の時間が無駄になってしまうため。
3	特になし。
4	無し。
5	なし。
6	なし。
7	国試問題を交えた授業で国試問題に慣れてもらいたい。
8	ない。
9	強制していることが多すぎるので、さすがにトイレに行くなどの生理現象は許可がなくてもいいと思う。
10	国試問題を交えた授業内容や振り返り問題を取り入れるなどして早いうちから国試問題に慣れるようにして欲しい。
11	国試を見据えた授業。
12	国試対策の教室ですまい先生や春田先生が成績が悪い人は国試受けさせないなどの脅し発言やネイルするななどプライベートまでを縛ってくるのは辞めて欲しいです。勝手に家にまで電話してくるのも辞めて頂きたいです。学校の評価を気にして国試100%をどうしても取りたいのは分かりますがやることが非常識で行き過ぎてることに気付いてほしいです。
13	授業についてではありませんが、こちらのアンケートに対して、全員回答を求めるのであればポータルサイトのPDFで送るなどワンタッチでこちらの画面までとり着けないようにするのではなく、メールにURLを添付し、スムーズに回答に移れるよう配慮していただきたいと思います。
14	笑顔がほしい。
15	ない。

16	特になし。
17	とくになし。
18	なし。
19	特にありません。
20	特にないです。

医療科学部

1年生	
1	国家試験の過去問を取り扱った授業。
2	分かりやすい授業。
3	わかりやすい授業。
4	食堂のメニューが豪華になる。
5	国試対策。
6	配布資料に教授の文章が欲しいです。
7	なし
8	特にない。
9	特になし。
10	ない。
11	なし。
12	質。
13	わからない。
14	資格取得だけでなく、その後のためにもなっていく授業。
15	国試対策のものを早めから配ってもらおうこと。
16	わかりやすいパワポ。
17	分かりやすく身になる授業。
18	優しさ。
19	分かってもらうぞという熱意。
20	なし。
21	わかりやすい授業。
22	とくになし。

2年生	
1	科目ごとの専門性。
2	レジュメを配布しない講義があるため、全講義で使用したレジュメを配布してほしい。
3	特になし。
4	国試の勉強法が分からないので国試対策の授業をしてほしい。
5	国試対策。
6	教員が講義する内容を学生全員が事前に全て理解している事を前提に講義をせず、講義の内容についてしっかり解説していただきたいです。
7	なし。
8	特になし。
9	国試の対策できる授業をうける。
10	食堂から11号館までの間に屋根が欲しい。学校内にATMが欲しい。
11	サポート。
12	わかりやすい授業や国家試験対策の対応。
13	勉強が出来ない人だけじゃなくて、みんな一人一人をちゃんと気にかけて欲しい。
14	特にない。
15	無い。
16	国試対策。
17	特にない。
18	わかりやすい授業。
19	分かりやすさ。

3年生	
1	深くまでわかりやすく。
2	国試対策。
3	将来的に有用であること。
4	国家試験に役に立つような授業をしてほしい。
5	特になし。
6	特に無し。
7	先輩たちの国家試験の勉強方法や就活についてもう少し情報が欲しいです。
8	臨床現場で実用的な知識、技術の習得。
9	先生方がまとめた資料。
10	学生に内容が伝わる授業。
11	特になし。
12	楽しい授業を期待しています。
13	なし。
14	就職支援。

4年生	
1	分かりやすい。
2	細菌検査学の国試対策講座。
3	国試対策をたくさんやって欲しい。
4	的確な解説。
5	国試問題を取り扱う。
6	特になし。
7	微生物の教員。
8	要点のまとまった資料の配布。
9	講義がとても分かりやすい。
10	電子化して欲しい。
11	ない。
12	国家試験合格に向けて。
13	授業によって国試に向けた勉強のやる気もりもり出てくること。
14	資料の電子化希望。
15	出席をしっかりして欲しい。
16	国家試験合格補助。
17	国家試験学習の補助。

***学修状況の把握に関するアンケート結果の作成にあたっては、作成時に過去年度のデータ等に誤りがあった場合及び集計の仕方に変更が生じた場合は、データの修正や集計方法を変更して新年度のアンケート結果を作成しています。**